敵討番附童全

へ5
2778

利へ門
2778

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 おの付乃六ツ
二 付まき三ツ
三 面八ツ乃まき
四 當流殺ツ
五 面八ツ小塩ツ
六 裏表月花ちぶのまき
七 奇仙乃法
八 四十四乃法
九 五の詞并神紙萩麩常速懐
十 云姫ぬり付ツ殺ツ并紙拍のまき
十一 殺ツ切字ぬれまき并ツ数ぬれまき
十二 和漢乃事 夫ツ
十三 人倫分并居下神用山歌之道
十四 秋分乃河
十五 心巻の詞
十六 百韻懐紙之式
十七 脇懐紙のはし式付懐紙之式
十八 奇仙書法
十九 狂歌新式

○そうあひ大全

諸番匠童

元弼諸八見和帝乃一様ハ
菅月寺武宗様なとゝ乃更続
き人山道とゆゝしゝあり式
ふあるゝ人拾ハ垂まゝ
世よ盛ふあれら中法親王の拾
見とゆ川風神かゝ
真ちゝ宗国風こゝ
りくゝやゝわりぬ
風神かゝり詞乃ゝ
ゝいあまりあり
どゝ好まゝかゝぬ
當流といやちゝ
小仙ゝれた古人の付合乃ゝ
ゝ付ゝどゝせゝ
俗人素ゝ
名弼乃和ゝ
ゝれたゝいひゝ
ゝろゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大橋や小橋の[illegible]ひ[illegible]こゞて
[illegible]も[illegible]ふ[illegible]と[illegible]せよ[illegible]
せなるしらの[illegible]
又切[illegible]く[illegible]ハ

更科の月ゆへ[illegible]

[illegible]

[illegible]

付やうハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

掘

傘傳ふるまてハけふぬ雨
月ふる山雨ふるくしと清さうし
大方もどりたらぬ山ぬくくれぬくを
ゆくとしてゆふ人ふとうふぬを夜々
のトんまくく通ひうう
十三 夕雨てと花世の未ウ里えて
世界三のうく先謝言なし夜々乃
仏ふるしく梅四を月見よりて毎ウ
ゆひ笑うるく梅の世界ぬよりり
てを里を山ふく笑うるを秋ウ豆ウ
たるふうそぬを同しまこくれて紙
十三 ひやくしと風ウ世界ふるちくて
秋のいちふ世界ふるちくて
世界ふ越ふゆうとして紙ふ雨三な
ふへ

ふ世界ふうふとふ人
紙ぬいうハ之世界ふきの乃て山ふ
ふうにひひの里と月少を三ふ編ふ
市山ふ越ふ

市人雨ふ世界紙ふ
雨里のふなとふふ三ふれ世
ふもふ越の紙ふ世界ふ市ふ屋居
ふよハふくねとふ紙の里けくさを
世白ふを同しまこくれて世
○雨ふ紙雨ねたくふひくふる
ふて雨屋鳴ふ書屋のけくき
ふけて里人ふふ人ふくふおそれ
ぬ世紙ふ雨ふてうふ紙もくふれて
世界ふくふ紙の雨ふ紙てふる
ふ雨ふふふくふ屋すきふのふ
紙ふのくふくふよふくふ
ふ雨ふふふ乃ふて浮世の世ふし
世紙ふふ紙ふのやふくふとうひ世
月ふくせふ人のふふ世ふふ人ふの
紙ふふて世とふふすふふて
ふふふ紙世ふふひまふ
世ふふふ世別の世ふふ
世ふふふ世ふ

雑乃度のうち紙つき
おるれかは紙たさかきひとち
のなまぶよして付うちかのこひ
ふ度のうちさに付て祝もりるれ
のまどうはんかしうこ海せ
作分物紙ゝ世作まり安なしこと
ふたくひかこ

人乃名れ形紙のひまとにくせよ
数紙人数付れさんの名れまとそね
こひけとにくせかくこもなゝ離の
新まて雑といやこにくせこいくせの
字まて付うち

債証と証乃二奇ちう屋ち
人の形紙ひまとなしにくせふ
てしたこなまぶハよれいしてちこ出
と前かするの紙ちしふんも奇ハのい
のうまて付うちしくうもうまの
まを参ふにうふちもの物ふ立
やうにつうふ角一字安かくすの紙な

おふよ月ひてつうつ大うこ李の張屋
ちひ付ふちうこの母と金也
ち付はもふ鍋甲れちしくり
ち付けちふまもく月ちうあ近ち付た
ちふ物ちうふしきなしく古奇
ふも信ち出こも心也月ちうあハ出ハ
くしき武士ふ多ふもしも後出ハ奇
ち屋さしきこと

児やは師や方丈乃撮
ちハ大寺の乳ちこ高武者ふくこ
軍ふなし和尚ち財面ちむち
ち海しふまなしに児ハは師屋ハ
らうふくふ　しくたりハ

三　面八句乃ちう

数句のうち貴ハ利ふ秀句ふハひうけふ
とこふくちる紙ちとち吟句系高
ふくちるこうこハふ句ちとふ句
と付句こひち河ふハしう神句ちべ
こち句乃内ふこうこ紙系乱なら

い出流の発句あり

四　京氣仏ん立てる発句

白めやうこけいかんをうるの山さか　一晶

花三こを花ふ抜てる　信徳

池の魚乃揚ぬいゆ嵐かな

春ゆふ吹く石ゆ流れ　紙黒

とゝとゝあくてる発句

如意輪うて法ふ抜ふ　賀泉

[illegible]　和及

編書や二年ぶ[illegible]むふ松原

蝶咲く屋敷[illegible]

ゆふ抜ふ[illegible]

乃紀発句

古渡や蛙とびこむ乃音　芭蕉

名乃付ぬ[illegible]ゆ山揺　湖春

花さけと[illegible]ぬ[illegible]の敷ふ　江戸丸

三百年い何揚ぬ[illegible]　和及

ひぬい上ゆ名人の上ゆ[illegible]

揺初ふのゆふ[illegible]

いまんゆり右三京の発句

脇　右流ふこ[illegible]乃ゆ[illegible]

多ひあれ[illegible]今い大概が発句ゆ京

花ゆれば京京[illegible]

ゆ[illegible]ゆ[illegible]

[illegible]ゆ[illegible]

[illegible]

[illegible]

みとりのうち　なれたる神人のうち中の
位もんぜのうちの三つの門ぜんぜ　ぜんぜ　ぜんぜ　ぜんぜ　ぜんぜ
ぜんぜ　ぜんぜ　ぜんぜ　ぜんぜ　

宮、産かり白いのなどをくゝりて
貴殿乃花し拳白ろいを摩の接
授と用あ産やうふるしまひ乃
花乃白くりくゝ拍ととべ

七 奇絵乃仕様

奇絵の紙諸といふ乃西六白うゝ
十二白あ紙ゆりく十二白うゝ六白に
てはと三十六白ゆり月高乃産裏
十一白めり酸みる白めり月の高く産の裏
六白めり月でと百歌乃名絵乃うゝ
し月めの
いみ〳〵連奇ふ高の乃債人の高と
三十六白とうに三の乃仕立て刷
みゝく紙諸ふとそ名といゝ
て数ゝうり三十六白ふもろかり

八 百十二乃仕様

百十二紙諸とのあい百歌の法と和
ゝと名絵乃うしと二形みゝく
二三乃ゝとあとうるゝ百歌乃法
ふわり

九 恵乃詞

恵。恵の山。恵の湖。恵の海。恵衣。恵
人。あど恵。深恵。恵の童。恵るの
思 深恵。地恵。紙地恵。海恵。
くれの恵。ゝ恵の湖。恵の川。恵の
洞。恵の煙。恵の宴。恵の川。恵の
洞の海。深の表。神の洞。神の表。神の海
神の波。深の流。神の表。神の表
神の表。ゝど名深。
情 清。清情。深清情。
傾城 白拍子。拍子。白。
うゝれ女。うゝれめ。山の見名人せぬ
がちゝれ。ゝれ。ゝれ。
くらゝ。ゝの里。ら町。絵系。吉系。ちり
どり町。ゝの波。彩町。まけ。乃川
長深の丸山。山。ゝ。ゝ。
傾城の名
傾城町。ゝ。ゝ。ゝ

ちゝ　わこ　ぢゝ　ばゝ　世ふんてあれさう　祝
町乃　汁　ちゝ　ぶ　ぶ　ぶ

[illegible]の付　石せうしゃう　孤丸

[illegible]　出雲[illegible]

[illegible]俳諧[illegible]

[illegible]

[illegible]

御願　御供物　返法橋　酒のそり橋　若のそり橋

祢宜　かんかだち　そうり　社人　市姫

社勢　社中　社領　社司　文ばと

文人　祢子　祢子山　仲勢　太夫　侍　友

祭主　おろしぐ　祢宜山　田の原　白ぐら　法祢紙方

ひか　侍所　友ぐらく　友ぐらく　三月

ぐ　御殿　友ぐらく　友祢宜　祢宜代

あぐーのそらく　墨祢宜　祢宜　法湯立

川やしろ

祭　祢子　祢宜　祢紙方　御殿　石殿義

祢紙方　祢供　拝　忌作所

法法連引　幣　大はさ

○　釋奠の日

寺　僧都　孫ち　会ち　高ち　奥ち

墨ち　山ち　松の奥ち　元の奥ち

雲乃坊ち　吉ち　雑坊ち　次ち

法乃ち　物洗ち　ひか名ち

堂　後堂　茶堂　古堂　釋迦堂

護摩堂　護摩堂　薬堂

伽藍　法堂　塔　同の塔　九輪　七ち

乃ち　乃ち。尾上坊。　廻廊　方丈　厨

石乃坊

寮殿　坊　六坊　墨坊　坊　奥の坊　武蔵坊

法師　法師　法師　法師

僧　僧　僧　僧　僧　僧　僧　僧

寺　寺中　寺中　門跡　院

國師　律師　律師　僧綱　長

和尚 上人 和尚 西堂 東堂
首座 義足 典座 書記
行堂 阿闍梨 侍者 侍郎 法師
法眼 法橋 禅師 頭陀
山伏 修験 宗旨 有くふわうさたのり
皆石義之 徒 福の筋 みなもとの義之
つよびらうにあらず

○ 速傷乃河

首切りの 新ふるらふ いわんくらふ
墨染の袖 世とのがれ 世とうろ
於人 医師 医師 大方 ひらも 所
神なり 鬼 鬼 化合 性人 実人
病苦乃きはかいろくみちんそ
速傷なる白切りの 用書
速傷乃かきこそむく白のまま
男の袴 ろうへ乃さそうちんん
おくろうへ乃 紙 紙
人はまぐ袴ねう紙 紙
これ乃白はきこ乃かきこ

ひろうへ速傷乃かきこ
そびこ乃人も世に世に乃ろく
乃びねろ乃 ろうあ乃ろ
まわふろう 乃 乃
乃ろ乃 乃 乃
又 乃 乃 乃
かろうこ乃 乃 乃
紙 乃 乃 乃
はりふろ乃 乃 乃
これ乃白はこ乃 乃 乃
ひろう乃 乃 乃
乃ろ乃 乃 乃
中乃 乃 乃
袴こふ乃 乃 乃
乃ふ乃 乃 乃
ろ乃 乃 乃

○ 最傷

紀野の 云帯の 袖 かつらぬ乃 古松
云帯の 紀野 古ふる河 云常里

右之事乃神代之古人のよみたる
後之人自然の
傷しんきくのうの
由仮乃字切之事
弥多とくへし

十　去　堪乃字

二句去「人伸居所」
くのごとくかつらの
かつらの桂和二句し
くのごとくかつらの
色黄葉時分と又時分と
月出星かつて天の
三句去「山れ
くとく
うとく
居不用字
風と風
桂和とく
木とく

十　去　堪乃字

二句去「朝松
物田同字
四字切字
切字の事

十　発句乃切字の事

ぬ　や　そ
ぬ　む
いそ　いく　いで
いそ　たそ　いく　さそ　こそ　これ
いで　よ　行　ま　そ　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま

紙和のみよハけ[illegible]

い面さ[illegible]ん 先ハ[illegible]ハ 紙和の乃みー耳ハ[illegible]

いつるべし

紙和乃みよハけ[illegible]

て[illegible]れハ[illegible]

和し 数白ハ[illegible]

[illegible]

白ハ大[illegible]

る故乃り 物乃山 奥ハ[illegible]

[illegible]

一字[illegible] こよ[illegible]

紙結ハ[illegible]

四 和漢乃[illegible]

大[illegible]紙結乃法と[illegible]

和漢[illegible]

漢乃利よ[illegible]

来把[illegible]

而欽 二の和い和漢[illegible]

紙和の方[illegible]

異[illegible]

一づ[illegible]

入欽乃字ハ[illegible]

いわ[illegible]

乃[illegible]

と漢[illegible]

和と[illegible]

と用べし 漢和と[illegible]

欽[illegible]

○ 句数乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

あげる　表装　一日　ゆくゝ　あけ
ぢ　二日　ゆくゝ

十三　人倫ふたつ　分

醫師　接地師。　仕立ハ　ハ　人倫　六尺。
花のあゝ。　伯ふ。　書　近。　ぐら打
ぶんた。　ちゝ　ふ。　年寄。　ぬと人
望城。　和望。　山城。　海城。　ゐれ。
ゐんべ。　ちゝ　人倫　かこ人
振治。　人倫　ゐれ　張治。　かみ
ゆい。　ゆ　ちゝ。　ぶ　ちう。　ぶら　近
作人。　ぐぜ。　ぶゐ　ゐれ。　亭主。　とゐ
ゐ　ゐ　む。　ぶ人の　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
月ゐ　あゝ。　月花の　ぶ。　わゝ　ぶ。　ぶん。
尼。　あ。　猿　ぶ。　民　関ち。　ぶ。
旅主。　ち　ぶ　ぶ　ぶ。　傍。　奏　ぶ
ず　命ふ。　ゐ。　ゐ。　ゐる。　ゐ。
大ま。　ぶ　ぶ。　武士　ゐ。
ひゐ。　ぶ。　ふ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。

りぜ。　ぶ　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。

○　地人倫分

六紀。　人形。　ぶ。　ぶん。　ぶ。　ぶ。
代女。　大ユ。　月ぶ　女。　花ぶ　女。　月ぶ
あゝ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　酒ふ　ぶ。
ぶん　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
百姓。　同代。　同付。　ぶ。　ぶ。　大ぶ
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶん。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。

居所　所の分

ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。
ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。　ぶ。

とぐれ。さくみ。くれぬの

山類部の分　山岳。嶽。峯。峰。坂。岳。

色と葉　同用の分　炭。灰

山類の分　山。雲。霧。あみ坂乃見。松木

白川の雲。はくうの雲。

山路。山姫。つらね。うづさの岩。

久米路のうし。富士。深乃。淵川

水山類分　橋。渡。橋。三橋。橋間

川橋。ならの川橋。とうの川

岑。とそ。山川。ふじ川。

三面川。淵。川。山科の岑。乃松。

吉野。ふの奥。小野の奥。

の奥。ふれ雪。木。

小淵。山乃川。炭焼。仙人。

汎本岩橋。ひろ

水色部の分　海。浦。漆。

海。泉。

滝。津。川。淵。堀。岸。渕。池。江。

井　右井　海

水色用の分　海。清。波。淡。

雨。加。塩。

水色部用の分　取。淵。浮木。

流。塩。焼。乃色。浮。桶。橋。

下。通。海。海士。蜑。

紀。和布。

水色乃分　住吉。浦。

三橋。橋列。小橋。松。

三。浦。淵。橋。田。

淵。津。三橋。橋。月。

水色分　天乃。浮橋。夏。

横川。三。川。淵。

苗代。里。

住吉。大井。沢。

松浦。橋。

水乃玉あり月の石 砥の石 ふみ布 さうに 宝乃八橋 霧の海 月の海 雲の海 名所 小田 樹 歌 さわぐ波り

十四 夜分乃部

ぬぐさ。おりれ。よこ。よこ云。ふる。ふる。雨。ふけて。別れ。ふる。ふる。乃。落。ぞりびいさら火。かつら火。ぞうら火。らくそく。ぐもと火。むさし火。紫火。ぞうよ火。庫。鉢。ふん。食。拙。ぞぬく。下紐。や。收帳。鈴。まくろむ。ぐもと。ぐびさ。ぬ。ど。又鈴。ぐうて鈴。ぐのある。まひろ。とげむ。ぐろ。ぐもぐ。ひろ。ぬ。ぐう。ぬぐりぬ。ぬぐうう。ぐう。ぐ。ぬ。ぐ。日まち。ぬぐ。七夕。秋ぐろ。さよあけ。ぬぐ。の。稽。鈴。秋ぐよ

十五 巳季乃部

春 陽春 暮天 東君 帝 陽春 淑光

正月 ぬぐさ。ぐ。ぐ。ぐ

あるあ桶。大ぶく。蓬菜かざり
みざるか。かどのこ。四つくり。たりこ。
そこよ。かまよ。どこ。あも 五月九日ヨリ
ふくつと炭。ふくさつ。ぐてこ
袖ぐそう。ぶくく。ぶ五月ぶぶ
くくふつ。やりこ。ぶ五月ぶ
於元板。くこ板。破魔弓こ板矢
くこ川。こくこめ。まりぐそめ 元日のおの銘
きこくこめいこれ
乃ふ 初茶。去年。今年。旧年
こひの年。あこき年。唐ひこさ
松こやし。ここ弱。万歳 諸国の祝言
元日の夜と 俗云初夢
初夢 元日の夜と 俗云初夢
いつもつむ。いつもあぐこ。餘三の裏起と
けさこ。桃。桃茶 桃板 桃梗
仙木 祢茶 欝墨 熊のなのれ祢茶の
欝墨の二祢とこさこ
子日乃松。小松引。初こ。
七草。ありか。ここぐこ。せこ。こぐ。
どこやこ。こぐこ。

ふこ。
初寅 初こ
卯杖 卯杖
朝祢沙 去年
紅位 五日或八六日紅宮の
乃祢 七日言野
祢 七日言野
八日 常陸茶 乃祢
ふび とあふ日 懸召の
男踏 奇 十四日の除目 十二月
三毬打 左近長
左こ書 わぐこ 上こ
かもの木 日月 こもつ
紅こ 日天子こ場殿中 尼祢 糸
日九 具足乃祝こ 内宴 正月仁海
沖忌 十九日より 十五日 猫寿茶 五月
東風。氷こくこ。氷こくこ。氷の張
こくこ。氷こくこ。氷ふのがこ 月令
書こくこ。書こ。のここ書。書氏数
書れこづく。書こる。書あぐれ。

[illegible]。木の目。下りえ　そくら。
業花。[illegible]。[illegible]。[illegible]。梅。[illegible]　[illegible]。
匂ひ草。[illegible]。冬至梅。[illegible]
臘梅。[illegible]　柳　[illegible]
風入草。川そひ草。[illegible]。目ぐりやぶだ
[illegible]　柳　寫。白ひる。金衣
寫。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。うらく。うらくう
[illegible]　三月　[illegible]。[illegible]。[illegible]。
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。
十[illegible]。[illegible]　三月　[illegible]の衣
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。
龍英　山桃の花。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。
[illegible]の[illegible]　[illegible]の[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。
あるあり。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]

初摘　糸摘　うぐ摘　はぎ摘　萬代
菜　燒野　山と燒　芝と燒　とぶろ
乃落　畑燒　畑くと燒　畑打　萬代
みはの祭　横ふめとまつ　畑まく
麻まく　うど　くわい　ふきの薹　ふくしこ
笋月　お　牧菜　海苔　さいたつま
細中ぬ　まかうど　なのこと
ぬめむ　さて　こと　ぶ　角ぐむ
苦の雑　角ぐ　つぐ　あさみ
苣　沢ちさ　川ちさ　海ちさ　紙鬱
いろのがり　又たこ　元ろ

三月　弥生　花月　桃月
巳日のこと　上巳　疾病　巳の日中
曲水の宴　桃花の節会　柳のこと　桃の酒
茶併　小八名合　桃花生
乗間　金清　茶師ち乃　戒勝　玉潤御
法花の祭　神紙　百貫　故事　七月天武天皇の
百貫　故事　朝　前の　冬至　冬食
左作乃海　三日　九日　石山祭三
栗津祭　水の尾祭　九月　やもと
法花祭　十五　玉生　会佛　十月
乃天　伝　十五　千本　点伝　彼寺の
濱　祭　十八月　乃　村　十九日
九　彩　伝　東　伝法　婦　彩の
順の　峯入　大峯入　十日　永さ日　遅羽
交ちこと　交ちこと　川　れ乃
ゆく　春の　春の　春の
乃漆　春と　地山　燈　春の　春の
乃巣　ちぶこ　春　春と小入　ゆこ
麦　稲　あひふ　ひ　のがり
摘貝　摘魚　摘　鋼　鋼　のがり
小鮎　鮎　菜よ　ふこ　紅葉　摘
桃　桃　桃　桃　山摘　花の書
花の帰　花乃雲　花の書　雲の
花の波　花れ　花の　花の
花車　花　花蓋　花軍
風流　天皇遊事　雲乃高　桜の花
山　桜れ　地山乃浦　桜　春の春

海棠　うこん　紅ゐの花
辛夷　こぶし　未筆　躑躅
山吹　醍醐花　木瓜の花　沈丁花
木蓮花　石南花　藤方の花　水木
花　小まり　夜叉　楊梅　る
紅梅　木の花　唐子乃花　柳
乃花　柳の花　楊梅の花　梅の花
薄　薄　薄　薄　薄　薄　薄　薄
新菜花　こしあぶら　菜　菜つま　新菜と後用ら不ずかりこ　かりこ
あげまき菊　うらの菊　桜くさ
九輪草日七定花　る藺　或ハ
ゑびす　金風花　けまん　丁子の
花　肩絵の花　花わらび　いさごり
ちらし花　あらい　ぜんまい
うこぎ　沈丁　山吹　夜叉
夏　朱明　昊天
四月　卯月　卯の花月　得名詩の月
花月　皐月

更衣　白かさね　まくらびくれ　更衣　かさね
わ色　まくらぬさ　紙帷子祭　一日或ハ　稲荷祭
祭　神乃日　山科祭　能　松乃尾祭　酉の日
當麻祭　吐の灌佛　合　仏生会　誕花
会　五香水　浴佛　日吉祭　申の日　山王
祭　加茂祭　酉の千因子　日　さぐ　神の
榊　榊　天　麦乃秋風
麦秋　麦　麦　菜洗　麦
五月雨　名残雨　富士　菜　花　王
ちまつ　ひるのしらん　花　菜　ひと
花乃宰相　杜若　かきつばた　葵
二条祭　葵　葵　菖蒲　蓮花　未曦花
射手　菖蒲　蓮　蓮
若葉　若葉　若葉　若葉の色　若葉の色
若楓　若葉　菜引　卯の花
ほくろぐ　夏の林　夏木立　新樹
新緑　木の花　茅人　花
榊花の花　松葉の花　竹の色用りてさり
乃玉　風ぐる　白てう花
山茶乃花　煙林の色　萩　橘

乃花　柳の糸　夏柳　竹のまたんか
ちうか　すゞのこ　若布　海さ
菜　蓮乃あ花　部ろ　ぢ　ぢん名
勅農の名　かんこ名　蛾　蝙蝠　蝉
原花　日ぐらし　ぐ名　ぐ名　ぐ名
乃ふくろ角　ちや蓼　仮部　ぢ神
樹ゆり　出　蚊　蚊帳　蚊柱　卯花衣
絽　紋　ゆやぢ花　紋　変入　変花
ひらぢ花

五月

さつき　月みぢ　ひつじ　松ヶ祭
たち花月　仲夏
加茂乃ぢ　橘　わ〜ぢ　早乙女　山吹
百　わらふ〜　百　内裏　ちまき
ちまき　菖蒲　乃花　さう蒲酒
菖蒲刀。菜　玉　ちまき　の玉　さつき花
出　金　絲　絲　長　絲　絲　続　金　絲
簾　蓮。菜　日　五月　菜　ぢ　橘　百　橘
艾人　蒲人。艾虎　杉　国　と　射　の　ぬ　の
百　まゆ　ぢ　ぢ　ぢ　仕　花　の　花　田　植　ぬ
か　蒲　乃　植　る　植　乃　植　る　植　乃　植　植　植　植　植　植　植

月令　夜　ぢ　ぢ　ぢ　花　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　川　舟　布　川　舟　の　ぢ。百　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ

六月　みなつき　風待月　あくうち月　常夏月

氷室　氷乃垣　氷室の宮　氷室の祭　氷餅　氷水

乃椿　氷餅　一枚酒　小さけ

あま酒　六月朔日　四月朔日　紙屋　朔日　十四日

日蝕　夜天延　忌日なり　尾州　熱田祭

二年　津島祭

十四日　いつく島祭　眞紅　江戸山王祭　十四日

産土　源時　富士詣　ふじ市

ふじ　ぐりと　六月　清水　洗物　くしあの

竹切　日　夜祈雨　温風　月令　月令

ひと雨　雷雨　黄ばみ

あつき日　夕立　白雨　夏雨　大雨　暴雨

あつき　清水　ひとぶ　京　鬼かりの

竹取　竹屋人　麻地　ふぐ

雲乃うち　あさり酒　麻地　法華

うちわ　夜切の糸　川狩　奏楽

扇　扇　桃　楊梅　とりくらんど

面白　松子　石竹

蓮　常夏　瞿麦

蒲の穂　海松　菖蒲の穂　海松

秋線花　眼は　凌霄の花　楊梅の花

玉簪花　きつねの花　香薷散　蔡の花

かるかや　麻　蔡　蔡の花

ちさ　まつ花　灯　麻花　茗荷花

あさぎ　水花　夕顔　ひさごの花

千鳥　ひく　蓮の実　小角豆

稲　ひぐらし　ひぐらし　ひぐらし

稲　せこの　ちゃ　怪　蟬　脱

蝉　蝉　夜虫　夜虫

秋の　ちり

あつ　秋　ものも　掛

七月　ふみつき　ふみひろげ月

七夕月　七夕月　七夕　桐　柳　梶

一葉　一葉の　一葉の　六日　七夕　七夕づり　ひと

小野の　小野の　さくら姫　わかれ川　狩場

さくら姫　さくら姫　牽牛　あまの川　狩場

墨河　河　牽牛　狩場　まつむし　紅

まつ　紅　かさぎ　狩場　まつむし　紅

秋　秋　七夕の　七夕の　結　石菖の結

秋　秋　夜　七夕の　七夕の　巧　漬　石菖の

庭乃　庭乃　琴　梶の　梶の　巧　漬　石菖の　石菖の

庭乃　庭乃　琴　梶の　梶の　巧　漬　石菖の　石菖の

逆の峯入 山伏七月高山八月 六月末 九月 走湯
乃甫珍 星手八幡 椎實 六月末 西蓮寺 中元 共立
蓋まゐて みたまつり 松まつり まそそい
ちゝ来 麻がら 根芋 生魂王
道乃波 利結 焼稗 八幡安房祭 十五日 八月十五日
花火 相撲 角力 十五日 地蔵祭 おつけの日 おはぎ
霧 稲妻 稲乃とり 沙羅あさ
細あし 分あし ひやう風 風
未槿 月令 茅 ほうき 鳴 ばつ
萩 糸ちさ 麻 昍 おあの萩
小萩 葉 芝葉 蔦ぐつ 花らさ
ぐもの とぐ 角の玉 稚穂 おりのの
ふさ 大まま 萩 こぐ 萩 七夕
くさ 仏彩法 茶師 茶 切茶
銀 若茶 ねら 乳くさ 稲
け 山茶花 俗つ 天人 ま ま
茅 ちやうの法 やつと 花 あさ豆
蓮 実 とぶ 線 桃の実 ぐり
ちんだの玉 ちさ 桃の玉 早田 ひろ

乃 やう色 この中 の とり
蕎 蝶 蟬 ちゝ ちゝ いかち 日ぐ
角 ちう 角 角 ちう 秋出 初出
鳴 ちゝ 鳴 ちゝ 鳴 ちゝ

落ちたる落花 水萱 花芒
撫子 ちとせ 紫苑 花のたとくさ
月草 露草 赤花 蕎麦 菊の
花 花畑 菊 紅葉 紅葉
花 紅葉 全部 角川
紅葉 名残の月 こまこまと 稚蓼
うづら草 あけび 稚蓼 苗香
乃実 ゆうとち 草 いとしくれ
ねぎ ひりやと 木綿とり
同じ 初雁 木綿とり
葉 葉 葉
衣川 ちとせ 山 やすれ
雑 片うら 雑衣 雑衣 暁 老略
げ 略 略の 略
蕪 編員 乃 小畑 ひつ
ちとせ ひよ ひさき 山 鶴
せ ちとせ ひと ひ ひ 山 鶴
ど ど ま ど ど 山 鶴
小 ち 枯 ち ち 山 鶴
ひ ひ ち ち ち 山 鶴

ちとせ 深 月 ちとせ 麻 麻 糸
ひ ひ 小 麻 引 ひ ひ ち 麻 ち
初 初 初 紅 田 田 ち 田 ち
田 ち 編 ち 八 米 乃 種
編 ち 葉 ち ち ち ち ち
引 板 ち ち ち ち ち ち

九月

初月 初霜月 小田刈月
孫 月 末 末月
泉 涌 る 今 月 元 八 日 室 陽 の 菊 元
菊 酒 葉 黄 乃 袋 菊 菊 菊
菊 乃 花 綿 菊 菊 菊 菊
菊 乃 祭 出 花 祭 大 坂 四 天 祭 大 津
住 吉 乃 市 宝 乃 市 後 乃 月
豆 名 月 栗 名 月 ち ち 乃 月
月 の 名 称 あ ち ち 乃 月
十 五 日 長 浜 祭 十 五 日 東 山 祭 十 五 日 井 田 明 神 祭
祭 十 七 月 祭 の 日 八 幡 祭 十 八 日 呉 服 祭 十 八 日 あ や い
祭 野 乃 天 の ち ち 花 の 乃 十 九 日 城 南 ち
お 祭 て ひ ー ち に 出 ち ち ち 祭 ち 祭 ち 人
ひ ち 入 て ち ち ち 植 ち 祭 ち の
菊 ち ち く の く 射 獣 ち ち ち 月 令
ち ち ち ち ち ち

[illegible]草 [illegible]
梅和歌 [illegible]和歌 [illegible]和歌 [illegible]
[illegible]和歌 [illegible]末 [illegible] 根
櫃 [illegible]の実 [illegible] 椎
[illegible]の実 [illegible]
榎 蓮 楝 [illegible] 金柑 九年母
柚 [illegible] [illegible]列 橘 佛手
[illegible] 榲桲 [illegible]
[illegible] 生乃浦和歌 [illegible]
[illegible]の実 [illegible]の実 榛
國[illegible] [illegible] 松よ 榛の実 柘
乃実 [illegible]実 [illegible]
[illegible]実 山[illegible]実 [illegible]
乃[illegible] [illegible] 野山の実 [illegible]山
[illegible] [illegible] [illegible]の[illegible]
[illegible]ち [illegible]ぶ草 [illegible]ぶ草
[illegible]日 [illegible] 龍膽 [illegible]
[illegible]乃[illegible] [illegible]の 老母草 菟豆
[illegible] [illegible]引
草 [illegible]草 [illegible]草 平
草 [illegible]草 [illegible]

[illegible]草 [illegible]草 柳草 [illegible]草 [illegible]
[illegible]田 [illegible]和歌 [illegible]和歌 [illegible]
[illegible]和歌 [illegible]の略 [illegible]
[illegible]和歌 [illegible]
[illegible]和歌 [illegible]
[illegible]和歌 [illegible]
[illegible]紀 [illegible]
[illegible]紀 [illegible]
[illegible]紀

月の雫　まつ女　たちより　落葉　木のしたの露
柳ふ　木枯　ねぶかし　柳ちる　みそ
木の枯　牡丹の　ちる　落ちる　紅葉のうす
菊枯　蕪　ちりくるもの　菓子の器　枇杷の器
山茶花　二十四番　紀信　小さ　牛二　俵　茶の器
洗ひし　茶の器　冬ごもり　八ほの器　ひつりて　冬籠
ちる川　八月　蕎麦　麦まき　麦まく
初雪　紙衣　月令　達磨　氷ゐる　月さゆる
雪ふる　綿代　ねりろ　水鼻　子鼠
柳つけ　ふる中に　ふるのとり　ふるのとり　出て
雪　時雨　秋奥引　鼠　炭竈　炭焼
鶴　かまくら　ちる　岩
鶴　綿　ひちりこ　ちこ
衾　紙子　紙衣　炬燵　炬燵
うんが　浜面　立冬の後十日　雪頂

十一月　霜月　神無月　神去月

雪見月
文殊　文殊の中　紅の糸　日記　日の糸
山科祭　上の　上申　吉田祭　日月
諸祭　明大原祭　中申　中申

日吉祭　日月花　白神　日の糸　日の糸
豊日祭　中辰　里神祭　月の糸
月の節　長谷　月の糸　月の糸
月の糸　月の糸　月の糸　月の糸
月の糸　月の糸　月の糸　月の糸
月の糸　月の糸

十二月 師走 素月 三冬月

梅月

乙子乃月 市佛月 師走 上月 年籠月 おづけ月

[illegible]

天徳寺閑山忌 十二月 歌乃法る日

[illegible]

月令 かさごさ里 [illegible]

小つごり 十九日 去と沽 [illegible]

去ちろき 四月のろ物 十三日 札どころ

年木ろ 樂棹 節 孝よい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 弟 唱句出来ル時其内ノ
平字韻ヲ除キテ入韻ノ字ヲ
定ル心 誹諧之漢和ニハ入韻
字トテ定ル字ハナケレ共常ニ
モテアツカフ正シキ平字ヲ
入韻ノ字ニ定ヘキ也
一 面八句漢四句和四句ヲ
内 漢ノ対句一所有ベシ大
法 漢ノ唱句ナレバ八句ノハ
和 和漢ノ時八句漢
挙句モ此例也 和漢ノ時ハ
和ニ韻字ナシ 又韻用ルモアリ
一 百句和漢五十句ツヽ也或
一二句ノ多少ハ苦シカラズ
一 花四本 両方二句ツヽ也隔番
スベシ
一 月 和漢ニ三句五句ツヽ中

苦シカラズ
一 雪四ツ也 和漢ニスベシ一方ニ
苦シカラズ
一 二句ノ物ハ一句ツヽ也其外ニ
異ル名ナドニテ出ルハ和漢出ダス
一句有ベシ
一 通字 上ノ字バカリヲ嫌フ也
下ハ苦シカラズ
一 五句去七句去ノ物ハ韻字ニ
ツカフヘキ也
一 韻ニ出ザル文字ハ和漢トモニ
遠慮シテ用ベキ也
一 名残ノ裏ハ漢ノ対句ナクテ
モ苦シカラズ
一 漢句ニ同字ヲ嫌フ事ナシ
一 漢句対ノ所ナラハ和ノ方
遠慮スベシ対ノムツカシキ所
ニテハ和ノ方ヒツトツテスベシ

九如此余ハ皆誹諧之法式ヲ用ル

懐紙書式

誹諧之漢和

松茸ハ其古ヘ
穀くくくくくの中
明のくくちゆ
初橋ゆくれて
釣竿葉荷來蛾
碁敗盤飛寳
酒酢壁吹虹
やくものやまゆ
ゆくめくりくさき
ゆくゆ月ゆ蛇蟲

漢ハ一字ヲ書テ下ノ並ハ和漢同シ

和ハ誹諧ノ如シ長ノ句ハ下ノ五文字ニテ墨次ベシ短ハ下ノ七文字ニテ次ベシ

漢句墨次カヒテ貴人ノ御句ハ表並ヲ一字上ヲ書シ

一漢句尋常五言ヲ用ヘシ或ハ六言七言ニモスルモ當時ノ漢句今ノ誹諧ノ趣ヲ用テスヘシ

邑々ノ作字様々ノ異諱用ル変好ミシ誹言モ有ミ成ベシ

哥仙之法

誹諧之歌仙
宇尾の暮ゆく
行
拓野ゆくの
まさ行の風
川細き未ハ
畠ゆ耕して
風ゆ
ゆくゆ秋の声
ゆくゆ海の宇と
きつゆ所ゆの月
やんはまゆれ先
宇ゆはまゆれ先のの

○面六句裏十二句
名残面十二句裏
六句以上三十六句

○面ノ五句目月

○裏ノ八句目月秋ニ
十一句目ハ花ヘ

十九 狂聯新式

一今ノ人作ル狂聯ヲ放用ニ鄙俗之語ヲ尤可ヘ然漫ニ勿作ル亂雜之俚言ヲ

一百韻之中不可用ヒ二十年來之世該ヲ

一氣形生植數量来引隨本例ニ可隔二聯ヲ哭財食

服隔式聯可並通用之

一數量虛捫之字過三十句則可無用不可三反同字例重用千人名地名亦可也

一若用熟語則雖爲五字

一平應詩之也余皆連句之例式也

平起
○○○●●
○○●○○
○●○●●
○○○●○
○●○○●
○○●●○
○○○●●
○●○○○
○○●●○
○○○●●
○●○○○
○○●●○
○○○●●
○●○○○

よ無文無悪よかりて俘物か
りて一つあり
岩一産ホニいホ一岩産一かやうの
ほの抱いれとうくし傘ホ岩一
いいホ一又書岩ホくくし傘ホうくて
一石も一ほと産ようくて一鉄炮
乃石火矢乃石ホ乃石山ホと二の四
岩搗山れよあくべ
石火矢 鉄炮ホれとうくあべ
いうくとあり 名くしまれホ二白
神祇ホり八月十又歌八幡の祭
祭礼中ホ美人歌ウ乃ばー
気揚王弾乃右ウ 傘ホいうく紙
とあり 紙生気の ウあくべ紙生
気生紙生川と出ホとうくす
紙生気と云白ひくれれとうく
さ乃紙乃抱とうあり と云ハあべ
いうくと神祇ホり神祭ホ
榊とうくあくうくと作又用
紙又紙代の紙ホ乃紙ホ情よ

あくべ ほうくうち れホ一つ
紙つと 産ホ二白ホり傘よ
産とホ宮あれ産ホ紙ホ
紙乃風産ホ風神ホと二白紙風と
云字ホ三白ホの子ホ面紙紙紙ホの
風紙乃ホ代くホ代くうゆく
紙の子紙末のくと云くく人伝ホ産ホ
打くくと紙ホの子ホのくあ
紙と出ウ尺産 産ホれくくあのくに
面紙紙ホ傘ホ出紙と云ホて云白
あくべりあや紙と出ウあべくべ出ホ
と云ホい産ホよ紙ひ紙ひと出ウと云
ハ紙ホあべくく
いあひくく雑ホ云くくホれくくあべ神ホ
面紙紙傘ホ出ホの字ホ面と紙いあび
くりのくくくらのでんホくあべ
岩紙 産ホくくくくべ打 紙とも紙ひと
ホ石くくと産ホよあくべ
岩くけうくあり
岩ホ くの出ホ末ホれくくくく

岩屋　船ゐよ打うつ[illegible]

石ゐ岩　西氏踊　岩双六の石ハ[illegible]のゝ[illegible]

石ゐ岩ゐ　岩双　七日ゐ[illegible]

いもづま　素の字ゐ面[illegible]

板拡　祇　紙あり

泥　只二名ゐよ二泥ゐ　唐泥　同さし傘

ゐ泥二名ゐよ一長　池　加　泉　池　池の

尼城泥の俗ゐ面ゐ名ゐ名ゐ面名ゐ名

ゐ面ゐ　ゐ　ゐ　

て二ツのり打とうの四べし

づゝ四ツ三ゾゝ三ゾゝ四の四ツ打

とゝ〳〵ふいづゝふいづゝふ四ツ三ゾゝ四ツ

ふ〳〵ふ二首ふ七日姫古の字ふ二日こ

傘ふ天古と古中古姫古代古代古今系

ふ也二八四〳〵ふいふ〳〵ふ〳〵ふ〳〵ふ

ろ板ふり古弦古〳〵ふ古弓古弓古酒

ふ八〳〵ふ〳〵ふ二日さろふり

いつ〳〵ふ八一ふ姫と出元何の字八二日こ

傘ふ也こふ一ふ八ふ一ふ八ふ姫ふ二ふ〳〵べし

命二ろろこ地ふの命こ二ツ打とうへてこ

ゾゝ〳〵傘ふ命二命に弾ふ打とうふ

出の命に出のと二日ろ〳〵ふ二日ろ〳〵ふ命こ

ろ〳〵ふの弾ふとふ〳〵ふ〳〵ふ命ふ藤こ

〳〵こ二ゾ軍一傘ふ花軍ふ花こ

見ハ去ふとやうこ出ふとこ三ゾゝ花

ふくうちふ八ふてゝ打〳〵ふ

六一ふ八ろ〳〵六弟一成一何ふを打と姫

糸ふふとうゝくこ但ふ世弾ふ糸ふ〳〵

ふろべし

いゝくせん山ふ八ふ八ふ八ふ八ふ百歌ふ

傘ふ上の日下の日ふ八ふ八ふて三べし

日八中ふ八ふべし

○ろ

傍ふ二ふ傘ふ二打と姫傘ふ傍ふ一

傍ふ傘ふ一ふ傍一ふ〳〵ふ一ふ上ふ

ふ〳〵ふのゞり傍ふ傍ふ夏のうれ〳〵七日

〳〵ふ

○は

傍ふ二名ふ二名ふ二名ふ二

傍ふ傘ふ一ふ傍一ふ〳〵ふ一ふ上ふ

傍ふ傍ふ〳〵ふ一ふ上ふ

傍ふ二名ふ二名ふ二

▲演ふ二名ふ二

結姫人御ふ〳〵ふ紙こ傘ふ

ふり京・姫ふ八ふ〳〵ふ姫このうら

程一品ふ八ふ但日神ふ〳〵ふ姫ふ八ふ

傍ふ傍ふ八ふ一ふ八ふ一ふ八ふ

傍のこふ〳〵ふ〳〵ふ〳〵ふ〳〵ふ

ふ傍ふ〳〵ふ七日ふ〳〵ふ

傍山ふ山ふ〳〵ふ七日姫傘ふ

川ふ〳〵ふ七日姫傘ふ

あべ　端の字を弁あべ　西と始べ
葉ふ七月　うへ　地ふ　きゝふ　雜あり
葉ふ　花　う　地の　ろ　面と　始　葉ふ　竹も
からりていと白　花　傘ふ　葉ふ　竹の
花　葉ふ　又白　花　葉　葉　一度ふ　西又　えふ
と　ふて　一ゝ　上又　葉　葉　りの　弁と　一
度ふ　ゆ　ろ　ろ　あり
橘白　花　ふ　二白　きゝふ
花　紙　さ　ぬ　ま　ろ　こ　ひ　松　の　え　板　の　え　ふ
うゝふ　あべ
葉ふ　長　の　こ　二白　始　何と　云　ぐ　い　ふ　始
花　に　こ　花　ふ　橘　七白　始　傘　ふ　花　の　白　橘
めつ　ざ　ろ　白　ゝ　ゝ　ば　付　て　も　ろ　ー　か　ず
橘ふ　花　い　付　べ　か　ら　ず
花　火　花　ふ　あ　い　西　花　こ　仏　も　西　花　ふ
なろ　ひ　ろ　う　へ　地　ふ　二白　あり
花　ふ　葉　ふ　西　花　こ　か　く　の　こ　く　あ　春　と
ひ　い　ろ　地　い　び　も　も　雜　あり
花　の　ろ　ろ　橘　橘　の　葉　ろ　と　ろ　ふ
家　ゆ　れ　の　ろ　ろ　い　と　白　あり

花　の　ち　ち　神　の　ち　西　仏　き　ゝ　ふ
花　ち　白　ひ　ふ　神　の　ち　人　の　ち　十　白　き　ゝ　ふ
花　ふ　ち　雜　付　白　と　始　ち　ち　始　ち　花　ち　付　ち
葉　ふ　ち　城　雜　ふ　葉　ふ　ち　西　葉　ふ　ち　ち　ち
酒　ふ　ち　ゝ　ゝ　ち　ふ　ち　ち　時　あ　ぐ　ち　ち　れ　も
付　白　と　き　ゝ　ふ
花　あ　ぐ　ち　ち　ち　び　て　ち　ち　あ　と　ぐ　ち　ち
ひ　と　び　て　ち　ち　ち　ち　ち　ち　あ　り
花　ち　と　ぐ　ち　ち　ち　ち　神　た　ち　西　花　ち　あ　り
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　り　ち　花　ち　西　ち　が
花　四　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
い　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
花　の　ち　ち　花　の　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
花　ぐ　ち　ち　ち　地　西　花　ち　地　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　の　月　ち　ち　ち　月　一　ち　ち　月　一　ち　ち　西　ち　ち　く
あ　べ　ー　ち　ち　の　月　ち　の　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　く　月　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち

傘ふる風二首の風一首は上に
上に同じ
和の字に同じ
くに和よ和まあめ西はそよ
そろくとろろろろて
傘の字に同じ
其一首は此歌一首と切みるべし
暮一首おぐらみるべ
時 山ぐろ乃こねくしひとくしひよるべし傘
枝くと酒あぐ月よるべし傘
みの時ふく秋の時の字まわれと結
花ともとぶ白ふ野とろろ
てを橋よあしぐ
くろあ只二首三傘ふくとも
傘に係る白ふ二首結傘に係
傘斗 傘器あぐ
三乃月と云ふ永きくあしぐ永月遠
月ふるべし
三乃文まくろぐのほるる傘
ふくろくあしぐ

花乃ふぐきくあり和ふあぐず
花の書 ふり和よあしぐず
花の石月の石花ふあり
花の雲くあ和 年和ふくあ
花やう白花ふよ二白あり
花むこ白花ふよ二白あり
花のくやこ 白花あり
時の西白あぐ花くろ白同じく
ふり和乃くいれと結花の
くあくあぐ白ふ白去傘ふ泥巴
乃白雨月雲あぐ白ひくふ
ふり飛くふ白去くくくく

くるまびり　茅ぐ入やうの白作り
ゐ〳〵ばみをこゐ〳〵ぐ付〳〵ぐ
昇よ白ゐぐ〳〵ぐ付〳〵ぐ
汁ぬ汁ぬ汁ぬ汁ぬ
よかりくるべし
法師坊主くらくられくるか尺蔵し
八幡ゐり八幡ゐり　桜二白きし
くるまびりの茅ぐ水衣
くるまびりふむゐ　白ときし
くやとゐ河ゐくやとゐ河ゐ　一度ゐ一度ゐ
芭蕉　秋し一度ゐ一度ゐ
くるくるゐくるくるゐ
ゐ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵
ゐくゐくゐくゐくゐ
兼乃ゐ兼乃ゐ　白ゐ
ゐくゐくゐくゐくゐ
ゐくゐくゐくゐくゐ
ゐくゐくゐくゐく

ふれよ　二匁五分
紙一枚　一匁五分
枝ふり　但結び白紙
ふわ〳〵傘　ふるい
ぐろけ　長さ
長さ一　ふわ一　法五尺
ふぐやう　駕ひかやう
ふぐろ　ぐくろ　人名
ぐろ　ろ　人名　歌ふかりて二
ぐろ　ろべ

ふりひよ　名七匁五分
ふろ　ふり乃下の白二ぐろ　ろべ
ふろ　ふりかまくく　ろ　ふ
西二　西方西儀　ぐ　ろ　ろ　ふ　二も
ろべ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
沸　ふ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　傘小回さよ
ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ
ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ
白い　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ
煮　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ
ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ

ふれ海　長さ　二匁五分
ふろ　ふり乃　ま　二匁五分
ふ　ふり　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

あぐれ内又二もてなる何はもわとは
佛ふ芝居かまたふ西とは
寶 和らしあるこふ此ど傘ふわと
牡丹ふくこ二ゆり 茅ぢ月まてろれ方ぢ
うら出ろふ二ろ
郭ふ 名ひしこ
傘ふこ二ゆり 杜鵑ろ郭ろ
ころふろ
かりろこ河名獄ふかりて二ゆり
布袋 天竺人倫ふあくど袋よ
付ろ
干瓜 ろぐこのふ地ふ
ろれてのろ瓜ぢ
ろ 意よ一 意よ一
帽子ふ ろ
細江名ふよ此どつ
○へ
名ふ字ろ 色ふ瓜ふ外ゆり
色ふ瓜ふ二ゆり

午歳より歳二ゆろ
強ふ字ろ月月ふ
下ふ一ゆり
ふ屋 河屋や
柏ふ二ゆり
角ろ
とろ
ふ柱ふ
色ふ
朱丹 名ふ二ゆり
○と
ろのゆ 和らふわ
傘ふ十一月中の辰の日ふ
乃義ふ時ふ
ふとろ
ふ
ふ
ふ
ふ
ふ
年ふ 色二移ん二ゆ
こ年値も年
年ふ ろ七ゆ

▲壺屋小屋　居和居和おし傘ハ拵別
乃うちハ居和居和よ二匁ハり
▲戸ハ二匁ハ居和ハ二匁ハ
▲戸ハ上戸下戸二匁
▲戸とあらハ居和居和ハ二匁
▲こぞう　居和よ二匁ハ
▲戸ハ上戸下戸二匁
▲戸ハ戸門こぞう七匁
居和ハ傘ハ傘ハ戸ハ
つくり　居和おし
▲居和居和よ
二匁ハり
▲居屋　居和ハ
居乃ハ居和ハ
▲居和ハ居和よ
▲友二人傘ハ拵ハ
友ハ
友　町友と上藩と
又二藩友と

山内ハ形とり物べし
ハどく存ようとして又ハ
てん出れハ
▲家　居和ハ居和の家在家の家
▲家　居和ハ居和の家
乃ハ七匁傘ハ
乃ハ
乃ハ
▲家ハ
家ハ
▲家ハ
▲家ハ
▲

名所　名所字所の字はふ二句
名所あくふ接の字はなりよりの字
付句ここに
名所ぬかの名所ぬかの名所
とりくの字はふ二句
虎一寅　虎毛の猫
是奇子白句も一乃句
ここ掛句に虎今一ゐべ
名乃句くふ名のこと
いがも七句ここに
とまり舟此句ふ夜の字よりふ二句
とまり此句ふ名二句
とり火一法のこと
ゐべし傘ふ灯一灯乃灯一法の
灯一法ふ者灯灯者灯
句のこと付句ふ
とり火一法の
麻とこと
照付とこと灯の表ふ

名所　名所字所の字はふ二句
傘　傘字所の字はふ二句
付句ここに
ふ乃字二句ここに
乃字ふ二句ここに
ふこと
ふこと　花ふ
ふよ　花ふ
ちまこと　波の字ふ二句
中風よ　風二句ここに
波　波ふ二句
の句　句ふ
波　波の字ふ二句
波　波の字ふ二句
波の字ふ二句
波の字ふ二句

▲ぬまこ　▲ぬさ　ぬうづく　神祇

▲ぬりーー　人偏ふ北どあるじゆ人偏ゝ傘に

▲ぬりんつんぐどれとこ　ぬりんつんぐどれとこ　ぬりんつんぐどれとこ

▲ぬるでもとこ　ぬるでもとこ　ぬるでも

○を

○長只二名あり二傘ゝ長ゝ此ゝ人の
名なるべしてもこのゝらん
小聖二名あり二小聖小所もこのゝ
わりとゝくゝゝべし傘小野三ゝ
人乃名なるもこの乃ゝらあり
を近ゝとゝらとゝくゝゝ三傘小とゝら姫
ゝゝくゝゝとゝらゝこゝとゝのゝて又可みゝ
とゝらとゝゝりゝゝゝゝもみゝべし
とゝら姫小をゝたゝらゝゝゝたゝゝ二方ゝ
逢ゝゝ目一ゝゝ西とゝゝゝ
小ゝゝ一ゝゝとゝゝ一小ゝゝゝゝゝゝ
小とゝゝゝゝ三白ゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
と書ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
女ゝゝゝ第一とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

傘小女乃名なるべしとゝゝ姫女ゝゝゝゝ
とゝゝゝゝ今一ゝゝゝゝゝ男ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝ孫とゝてのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝ秋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
生ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
小とゝゝ 付白ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝ ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

め猫めたいめとりのれい人れいわざ
是は女めと女性ゆえ色七日ゆえ
人物ゆえ女房女性ゆえ女のさわりゆえ
てもこれらべしすべし女のさわりゆえ
うれなかれいわれ一つ
ところ　あ懸よはしずす
女よいもとむもあらあ面ところ
是一ゆえゆりとゆわざことのれのうち
又一ゆとうくくみべし

○わ
紙表　王　天よもべしこき大表わと
ふ　人物のゆゆり
王よりうしの王の出所物王十王
面紙ところ
王ゆ　明王　天王ゆどゆ二日ゆ
和四の京　ゆゆ面紙姫四れなれゆ姫
和前よ　和歌ゆ面紙ところ
別也　長二　表よ二　傘ゆ別也の表を
ゆくくゆ三のゆうゆ
ところ毎　川色れところ懸ゆり

ゆり祝の表　懸ゆり
表別　懸のゆゆくくゆ二日姫表のゆゆく
いゆ七日ゆ懸のゆれゆゆゆゆゆゆゆ二日ゆ
別也　ゆゆゆゆ二日姫ゆのゆゆ同
ゆゆゆれゆゆ二日姫
ゆゆゆ　表ゆよ二日ゆり
わゆ四ゆ人物ゆ二日姫人の別よるの物ゆ
ゆゆれゆ二日姫人の別よるの物ゆ
著ゆゆゆの神ゆもゆゆゆゆ傘よ
表乃ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
七日表面ゆ帯ゆゆゆれよたい
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
わゆゆ長一　ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆ表表一　ゆゆゆ一ゆゆゆ紙
ゆゆ人のゆゆれ面ところ
ゆ表表表　ゆ表ゆゆゆゆゆゆ姫
ゆゆ姫ゆ表ゆゆゆゆゆゆゆゆ
わゆゆゆよ力大力面ところ
ゆれに　生れよゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆくい生れよゆゆゆ三日ゆり

ゆうびかいうえ袖ふわらば春とうを
さうぐうを袖よりあるべし
わとれ草雑くさ　りんざうのすく
花とひとびてはえくさの字二句
綿ふるもん　二句かり
わとれぐさ　雑のなふ二句
ゆうさこ・夜れこ　あそこ
○か
弁当二居の弁　一居の弁一傘
よ弁ぐうち　二の弁　天弁高弁
ゆどく　ふうこてうべ　弁く
といのべうしべ
弁よ　弁ふ弁　弁ふ弁ふ　ふ弁ふ
傘よ弁ふ弁　弁ふ弁ふ　ぐく七句ちも
弁　三月ふるる三句
弁よ　弁より三句　傘ふ付ても
弁ふ弁　きびてと云　七句　傘二
かとさびとい上久　と云　花　花和
深山池　ゆどの　只　ぬさびしきを
花句　べ弁付ても　花花

以系のうちうわとかとさびと
いで弁ぐうち　と久と云時　弁
紙ぐうしといようち　ぐうち
ぐうふ雑こうげうふのうちうふ
出ろんふ　ぐく秋こ傘ふけうふ
祝こあこ古今の奇ふしとふ
らめやもうげうふのうちうふ
ゆふ　袖とこよめうふ陽炎と云て
表の月あくこに時　蛍のこふ
どにちくと服ふこうる袖と云
どんぐうこと云　と秋雑と云　日ふの
四のうり　袖ゆくうふ袋ふわこ門
雑ふこ　日ふ紙よこわこ門も
情袋も　ぐうふ　ふ　ふ雑
こふ出とぐうふ　ふ二ふよふ
ちくくとうこと　とこれぐこ
ちくこうこうふ　ふこ陽炎のご
とくこうふくこ　ふうふうふ
情　ぐうふこふこ　ふうふ
みここ川のこふ付てこ

川を越ぬれば浦ゆくもつゐぢを
小船ぶねにのりて越ぬれば
浦の川を越ぬれば
神仏とつどをてい神祇天地たち
二百ばかり
神ぶ取ものしるし傘ぶ神ぶ一
又四ばかり一反かぐらぶのうちよ
今一ばかり三門ばかりあり
社ぶ只一ばかりとゑうらべ
前迄より門乃字七百程出のまより
二百程ばかりよりあるべし
かくれ家只一所ばかりよりあるべし
かくれ家より世ばかりあるべし
世ばかりとゑうらべ
雜日　表の字四門字たぶかもさ
ら子　雜日ばかりは
門四しんとゑうらべ又二ばかりべ傘
しんとゑうへてもれ上門のうちし
かどて前迄と云板ぶの外し他ど
て一ばかりどぶ仏上三しかどてぶ門西
と仏門ぶと云時ハ門ばかりし

門より二ばかり門表ぶ西と仏
かりぬるゑ社ぶの一ばかりあるべし云百ハ
社ぶ社しゑとし云字のくハ門まも
社よりあるし他社
門より云ばかりて七百程
仏ぶしまぶ仏雜うれけひうら
あるちぶ社ばかりとゑ
より仏ぶこし仏より雜西仏ぶ
仏より社ぶのまぶ仏七百程
かうぶ社ぶ二百ばかり
かるる只一表し川せこのるしかば
よるる同じ行ぶ
今紫仏ばかりるるかるよ
別ともいかり
上ぶ八ばかりとゑうへとゑ又八ばかり西
より一つしだるうしとくゑうへ仏の
るい社と仏ばかりとゑうへしだるうしばかり七百し
社壁ぶ表し房出ぶとびしとびてい社し
うへ西より表ばかりとゑ傘ぶ表
うれ壁社ばかりとゑ

指貫ぬり二獸ぬり二川ぬり一山内
あぐらぬぎ　橋ぬり　車ぬり裏よ
ろべし　▲梶よりぬぎ　西ぬきぬ
屋表三枚二屋ぬ　ぬ
も姫ぬりぬ　ぬ　ぬ
牧張　表ぬ　傘よ牧
ろべし　ぬ　ぬ
かうもりぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　

みかりてにもるべーいづれもわとは
笠ふり柏ふり柏ふーふり柏ふーふり柏ふー

▲かくるゆゑ云々の詞のれにぐりかたこ
傘かかる一かくるる平あるるるあるれらふ一
なとかる平あるるるあるれらふ一
いとこそ仏法神法あるどの考るよう
いなをなりいこの用もるべし
▲雖よるるそいるるるそ七百姫傘よ
るるれかるそ三百姫るるれかくるそ
みくもこかこ百云
▲かゆるるとこ云々二ぐりあるべし
傘かる百神るるるこ
冥乃宝ほこ▲かるるこ夜れこ
▲家のあるこ書こ水色かる姫どるそびこ百
かをすりかく清酒のかるるかく二百姫
▲かるりるこるるりゆるるそ二百姫
○よ
▲然不用かるる二百姫こ思ほさまれるそ
かるれるまいるるりず傘ふよ和と
云々意よ二ぐ一いとこ
▲代ぐ二神代一傘ふ考る代一神
代一ぐどいと考かるるとてれよこ

▲代よ世三百るるこ
▲世ぐ二意惜二仏乃世二意ふ二隠世
通世ハ意惜仏世乃世乃人ハ平世和
世ほ世ハ仏世ありいも面と姫平世
とくのるられと姫意惜仏世用ふ
傘かるる世意惜乃世仏世意ぐれ
られよこるる六ぐ面とるこ
和と姫用ぐるかもれるかかも姫と
和代るまるるるるるるこ
和の考るるかいるるるこ
和ほ二宵二傘ふ宵二ふ今
宵ふ宵二宵ふ姫ぐれ用ふるべし
宵ふ宵ふかかぐ和のるふかこ百ありる
こりぐるの宵 姫姫ふ
蓮ほ 宵ふ二百しるるぐるるるるる
宵ふふ意傘ふ蓮生ふれ
蓮ほふぐの生れ
ぐるりるべし蓮二ぐ和一蓮意
蓮蓮ふ和ふ二ぐ今一れ上ぐる
よるぐるふふるるるふるるぐれふのしわ

さしこの
路より玄二百姐低白粉かうべ
ふ糸只二糸ホ二傘ホ只二糸ホ二
秋のはつれ戸のわろ付白粉と姐
云よりまで初じれよりじ二百さしこ
ふ
ようこよりあとれ〳〵ものく
ようこる云こ傘ホ白粉ホ今俗云のわ
只云のとホ白粉とくんしてもべ
〳〵ものこ二姐ホ一つふいさご俗のもく
世のなとホ一一ふ一ふ一ふ一ふ一ふ一ふ
ありホ秋のなとホ白粉ホ二
○九
大王神祇ゆり傘ど業ゆうの
れい一方に一百の地ゆうべたろ
ふ糸ホ行鞏ゆうの面と姐傘ホ岩拓
姐ようこるさしこ
竹ホちひろゆうべげとしてもこ百姐
竹のゆりれいゆりの
ふ糸二嶽二傘ホ岩二糸ホ一又ふれと三
ふのなんしかとホてもこのふ

竹ホ糸竹ホ百姐竹ホ百姐竹ホ百姐竹ホ百姐竹ホ百姐竹ホ百姐竹ホ百姐
ホ八ふ傘ホ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ玉ふ
ホ一ねホ玉の字二百姐別ホ一字ふ
ふ只二糸ホ二傘ホ二糸ホ二傘ホ二糸ホ二傘ホ

七夕 祝ふ七月日ホ二百姫月日ヲ
ひとびとくい祝ふホ祝ど
七夕一せたと云ホ天ホ一ねんとくく
えべ一七夕ホ天の川二百姫傘ホ
七夕ホ天の川三百姫
たなばた姫ヨ田ヒ字ふ
田に田植ホ田植と云ふ
ともあべり
田ホいねうゑ
田に苗とびて
苗姫ふと云て植姫ホ二百こかべ
ひとびとひとびとくも二百こまもと
ふ
ふ
玉ホ 玉珠数七百姫傘ホ玉に玉
玉ホ三百云り
玉ヒ玉ホ傘一百姫玉の傘ヲ
二百姫玉の玉ヒ玉の傘ヲ
いねとうとくえべ一傘ホ玉乃と
名ホ二玉ホ一傘のかゆ
名ヲ山 只数ヒ
ふ

いせんうの名ホ
田ホ生田ヒ田ヒ田ホ
田ホ 苗代ヲ苗ヒ
田ホ くろめぜ
ヒ玉ヨ
ホ姫 玉ヨ
流ヒ付合ヲ
付る生ホ
田ホ 姫ら雑ヒ田ホ
田に ヒ
三田ホ三の字二百ヒ田ホ三百姫
ふ田ホ 水田田ホ
三田ホ 名ホ
ふ ふ 但ふ
ら物乃ホ 山ヒ
雑の字ヒ傘ホ
ヒ三ヲ
橋の字ヒ田ホ
但 名ヒ田ホ

蒔ふ 糊面代さしふ
蒔ふ 蕉支 二匁ちこ
燈ふく 拙相よ打うと絶
橋只一丈おもうず
焼火 ちかふ水ほど芝火入り竹火
こか焼火こ傘 ふうと云河三こ
うり打ぞうこ
たくふ 菓相七匁さしふ
たくうれ煙 ちよ水ほど傘 ふ火と云
こよふくうと云しばとじとびてふ
ちかふとのぐうこ
ちそうれ 非のまよ河ちれふ二匁こ
ちそうれよ夕ふ絶夕ふうり
ちそうれいちうこふ
民乃うほど 庭あよ乃ふず
ふ松よ 火二匁さしふ
たちとよ二匁さしふ
たりとふよ二匁絶 神ふよいふもふ絶
冊よ 紙紙二匁 焼ふ火二匁さしふ
焼ふ水ふ火二匁絶 焼も同

ぞと云河乃乃二匁あり
軒 ちよ二只二傘ふ軒のまよこ
うち ちよ乃匁ふ二三匁ちこ
れ 松火ぞぐこ云河ちふ水ほと軒も
松ひ一ぞぐこいづ ちよう傘うり
松乃ちよ三匁あり
絶乃 絶ひて絶ぞれ河二ちべ
絶冊よ 竹 面代さしふ
撞よ 絶う付てもちふ
ぞるれ乃代ふ面ふ称付匁と絶
大ふ京ぞもとかいと云てふ
大と大打と絶 大絶大天撞大木
大ちふおのぐうこ
大ととかいこちふ面とさしふ
大ふ 大ふ付てもちふ
左報一 左刀一
響二 ちふ代こ
河ぞ ふちと同一 仮のまも
ふちこうこ
行さ こさりぞと絶こ左木とちこ

そこに見えぬ所ゆゑ
た今乃至近乃至
とゝあるも見えず一度ふ一こゝ
とゞまれとゝ又ゝ
ゝ後乃字ゆゑ付てゝ
ゝゞぬゝ ゝゞゝ二句
○れ
也 斎よ 歌ゝとゝ
ゝん 斎よ ゝゞれ
かゝれ ゝ面れ ゝゝ
下和乃河ゝゝ二句
例ゝ ゝ例よゝ
ゝふよむゝゝ
ゝゝ ゝ例ゝ
ふ例ゝ ゝゝ
ゝゝ ゝゝ
ゝゝ ゝ
礼一 礼ゝ也礼ゝ
ゝ也 ―
ゝ一ゝゝ

ゝゝと云河只一ゝり
○う
ゝ八ゝ此外 ゝ
ゝよゝ久ゝ ゝ
ゝよ ゝ天七句
外面ニ 面れ字ゝ
外の字ゝゝ
乃用ゝゝ
ゝ二 傘ゝ
ゝ陵 ゝ
ゝゝ ▲園 園
ゝ句ゝ 傘ゝ ゝ園 ゝ二 園 祇園
ゝゝ
ゝのゝゝ
ゝのゝ ゝ
ゝれ ゝ
傘ゝ ゝ
ゝ独ゝ
ゝゝ ゝ二句
ゝゝ ゝ
ゝゝ ゝ二句ゝ
ゝゝ ゝ人 偏ゝ

姫じ秋く傘ふそうづあるとこ名
はぎ一のるふ仏ら七あ二名和
ゆり猪あと雲ゆりゑ流あ
えくぐ　あまり　ゆりあみ二句
神代女　神の秀たふゆり和くゑ
さ流のるえ沼流仕ちこに仕ちら義
秀ゆび流ふ露ゑ人ゆも和ど源
るふ仕ちさらゆえ流ゆ二句
葦地よ　松行芳ゆまゆども懐ひよ
乃芳ゆひの懐ちゆ新都ときふ
そ一刻ふらかれ神ゆれてじそのれ二句
春の字　二ぐらうるべ一春命下春
春ちゆげまもひうらゆり

○つ

月ちとの神　名而えはちとのり
同あ名の神いは名而よはちど
月の女人稲ふ姫ど仏句猶ふ不
傘ふ月のゆ人稲ふ月と女姫ゆ人稲
月西二つも月とくのうゆ句し
ゆ女名仕ふ一秀ゆ三ともちゆ

ゆ流一ひちふ月ゆ名ゆ秋の
ゆ流一三月月ゆ三月まのうれ月
三月月とゆる月ゆまりてもう
仏八ゆぐ秋ふゆくもくーかれ
名神乃裏ゆはちゆさいあれ
月ふ朝月二月二句も月ふ月二句姫月
次の月月ゆ月月ふゆり姫二句ゆり
月のゆうり　姫ゆ月ふゆり月次ゆり
月ふゆゆゆぐ流ふ月女師芭ゆ
　　▲つるぐふ　揺ゆふれ
月ゆとの月ふ雲月月迫三句猛新
月神　壬月いふ句ゆゆ
月の名　新女方姫ゆり夜のとぐ
ていゆり和ゆゆゆ
嶺　新　雲時女かくのごくつぐゆ
いゆゆ秋ゆりつーぐた一句の四
ゆ秋とひとびてい秋ゆり
姫月ゆ　夜月波のうれゆ女句
姫ゆれゆゆれ出ゆぐの四六二句
ゆふの月　姫ゆ猪月三月月の出ゆ月

和入あひいろびとびいろ月日にむ
とび月のびまも和かみあらび
雨こはつみそも傘み角季さかられ
がこ白ちやり
月み新代びもびて二白月に新月あ
蹄躅一ちこ傘みあつめてみるべー
月結ぢじ和ぢこ神紙あり
月年 雨ちげ 越地みちず
家ちげちみ
洋只二名和二雑洋のつりじふ地
あまの月真洋ちこ
妻よ 妹ちこ
傘み雑洋ちこ
傘みべーかんだれ系ぢこ
ちこをちべー洋れ玉大洋雑洋
洋のれの字ちず
洋みちこ
かれがもも白ちば
雨只一 ちげ
傘よ 雨ちば
傘みべーかんべー
傘みちこ

えべーいこ
ん雨が只もこのうちり
雨只林一棟地みち 雨の菓雑
ちこ
のすみ一鼠ちこ
和白みのじ
ちこりず 天玉菜大書こ
雑みち白羽田のけまも二白地傘よ
白雑ちこ
常のとりー火和ちみ地ど傘み
常のちよいこ
雨みけてこ
ちこ
ちこ
つて白りこ
和ちこ
ちこ七白地
和ちこ
ちべー白り
ま玉 棟地みど傘みちと
地玉のちみ
雑ちみ白ちり
雑ちみ白ちり
一雑ちみ
一雑ちみ
ちこ

○ね

ねはの年よりのぶべし傘に拵ふ二百
拵はよりて紙と拵付白いふ者
祢宜　神祇　人倫
念者　恵なり
寝乃字は　ねるねつる名井ねどい
山外し寝乃字はよりねるねつる名井ねどい
名歌の移るい七日拵傘に拵ふ二百
よ云て一ねとよし寝よりよる面とよく河ね
七日拵傘に拵ふ二百
寝よりよる面とよく河ね
七日拵傘に拵ふ二百
寝よりよる面とよく河ね
七日拵傘に拵ふ二百

猫一ふぐいのそこ[illegible]ども云へる又一ふぐ
[illegible]ひろ　夜ありて　歌うりのもし
系の糸　秋七夕に[illegible]

○な

波の家　[illegible]秋し傘ふ波なきもし
雑波ふ　波の家こそ[illegible]
蓑波　尾花の波[illegible]ふきこ[illegible]ず
ふ[illegible]三句ありて
[illegible]二潮二傘ふ法三角一[illegible]
萬代　[illegible]句も
ふこそ　[illegible]句ち
波の花　ふこそ花ふ[illegible]句作り
ふくい[illegible]花ふ[illegible]ども花の
[illegible]ふ[illegible]ば[illegible]
波の家　秋し　ふりはふこ[illegible]ふ
波の時雨ふし　ふりはふ二句
傘よ一産に二句
かこその雲　山[illegible]ふ
雑波の恨し　秋ふり
波よ　神の家に二句
波の[illegible]むこ[illegible]て[illegible]ふ
ふる神　神[illegible]ふ[illegible]ど神の[illegible]ふ
二句し傘ふ[illegible]神二句六らいと[illegible]
ふ云くらべ[illegible]ふ[illegible]
どく云句ふ[illegible]神の[illegible]ふ
ふ[illegible]ふ　流ふよ[illegible]
傘ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]

ぬぐ云ふ事 地ぬぐ
名の字只二 点ふ二のぬぐも人の
云くし系地事 名の字ぬの字 点の名ハ最ふ
名ぬ 名の字ぬの字 点ふ百傘三
なぬ 点の頭 傘よぬぐきれ
てこしたかり 二ぬべ ぬぐ
ぬ引七句 ぬ
ぬ 只一傘よぬ 又四ぬ
よの切ぬ ぬ ぬれ又 ぬ
付ぬ 又一 ぬべ
傘二 ぬ 用ハ ぬ 又 ぬ
ぬ 点の字七句 ぬ
の事よ ぬ

中ふ ら二句 ふ世の 同ふ
中点二中 ら 二傘中点
中点一仲人一 媒 ら
ぬ 中点のち ふ一 ぬべ
中点人 中の字 点 二句 ぬ
媒命 長 永の字 二句 ぬ
傘よ ぬ ぬ

ぬ ぬ
ぬ 句 ぬ
ぬ 句 ぬ
ぬ 句

傘よ成の三匁ちし
かるに かん付匁ぶ
かるとかれ下のかかとそろく
い付匁ぐりとそ
かしかりふかんと七匁ぶ
かれやかしかんかりは西
とくくはづし傘よかしやかり
しかんのうりの七匁ぶかり
匁のとまりこは百欵ふこづし
かりふりかぐつぐさそろ相ぶし
傘ふかうのかかのこかり百欵
よ匁のけとくくはこみべー
やとかりはけかりかり百ぶ
かりしかるかこ匁ぶ
人の名人偏し他刀の張は絵ふの
名かれた人偏よかりしど
かいとりかり表し晴雨と出ン

実べら 虫偏かり
うんしかん付匁ぶ絵傘二匁ぶ
ぶんふぐんちんされは一ぶ
かれと付匁ぶ
らしとらんらかぶ二匁ぶ
いかもぶしどと
らくぶんかしぐつぐさ
ぶろこかるは七匁ぶ
らんよかしかは二匁ぶ
撫物 秋ぶしかは入乃をかかと
匁絵りかしかは秋ぶかりしど
らふ景のかしらかるぶくあぐど
海文ぶこべーちんもかべくびこ
乳世乳表かぶくく世乃ぐれは一
ぶこべー乳女ぶ乃ぶく基ぶはぶ
べーぐれ基ぶろぐんん

○む

背二虫偏こいかしなは西と絵
宝の戸ぶ表し形おかは絵ぶかる
おかりは用れとべはるもぶ七匁
絵傘ふ宝の戸ぶ二宝の戸よはも
宝の八絵 絵ぶれ二絵傘ぶは二ぶを

一八名おとこ一枝りんあの竜どそもそ
村居おとこ二句 村苗板村ごふ句
意函 村の字ふ二句句傘よ村
二こ 胸よ二句ふ
近よ 白 二句ふ
ひら 意こ 和ふ
ひさしのくもりくふ
ひづら 雑こ 意こ
傘二こ名ふ乃抜ふ
梅一ふ梅一名ふの梅一ふ梅一ふ梅一ふ
名ふ梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅の
い表ふるべー傘ふ
乃梅のらふ梅八
梅漢 梅干 梅ふ
雑よ 村の字二句こ傘ふ
集ふ 意ふ
澤乃宿 梅ふ
ぐー一八えぐー
蓬二法の蓬一ふ蓬二

知ふ 和ふこ法の蓬
蓬ふ
埋木 ふ句よ二句
る二ふ二るふ句ふ
るふ弱るのふ
るのあ紙よ句
るふ形茶のふ 午七句
るふ鞠ふ山七句
ふ句ふ
るふ鞠 ふ七句
るのあ紙よ車
ひふ ふ
弱ふ ふ
胸れ雪 秋 澤ふ
ひふ 和ふ
暁鶏 ふ
ひふ あの字二句
胸れ 秋 ふ
ひふ 和ふ

蓬一傘ふ蓬二
村苗板村ごふ句
傘よ村
二句ふ
ひづら
ひさしのくもりくふ
ひづら
ひづら
傘二こ名ふ乃抜ふ
梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅の
名ふ梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅一ふ梅の
い表ふるべー傘ふ
乃梅のらふ梅八
梅漢 梅干 梅ふ
雑よ 村の字二句こ傘ふ
集ふ 意ふ
澤乃宿 梅ふ
ぐー一八えぐー
蓬二法の蓬一ふ蓬二

知ふ 和ふこ法の蓬
蓬ふ
埋木 ふ句よ二句
る二ふ二るふ句ふ
るふ弱るのふ
るのあ紙よ句
るふ形茶のふ 午七句
るふ鞠ふ山七句
ふ句ふ
るふ鞠 ふ七句
るのあ紙よ車
ひふ ふ
弱ふ ふ
胸れ雪 秋 澤ふ
ひふ 和ふ
暁鶏 ふ
ひふ あの字二句
胸れ 秋 ふ
ひふ 和ふ

生るゝを傘生花
六乃花　雪ぼせの時傘を雪の内
紙捻和紙紙こよりに
むしまゝをむしまゝの西と
むしと　蚊よ蚊とむしこ入いろも
蛍燃見蛍　神祇　紙し　蚊ゆりゝど
麦飯乃れ　うゑ物わかぬど
出只二　松出　松出　みの出おの内二
いそれもれて　ゑ　ろ　ろ　ろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上ふのろ　行ぐら二句し　傘ふくのど
うくかりて　ぬぐろべー
うれ世　ぬのなふ二句し　傘ふなのま
なたこ　なせるひ　虫ふ　ひどふの世
うれふ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うぶや　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ゆへよ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うゆくま　虫　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うやま　浦　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
傘　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うぐろ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
かりて　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うふ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うと　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うらぶ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
二句し　杖　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うかり　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
二句　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うう　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
白ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

うそ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うそ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
七句　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うれめ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うれ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
変　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
うう　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
二句　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
かう　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
あれ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
○　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
二句　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ひぢ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
二句　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
井　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

井せ[illegible]一ゑ[illegible]
[illegible]ゑ一雅之 傘ニ弦 二ハ[illegible]
名聖人の名の弦ひとつ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]ゑ

能の謡曲つゝ船人猟に云て人猟
野遊白拍子
乃色々色を色遊一座にて
ぬさもせずこゝ色をもつゝとゝんも
面く云なふ露狩と云なのふせた
ひせりあれ面ゝ云〳〵

○れ・

歌二名歌二首二人の云ふ三の名れと
姫傘よき人名歌ホからり三名り
乙姫面白乃知し乙乃白字れかぬ
人かく白名もし但乙の名乙まふ
乙つゝ云名乙名乙名乙名乙橋れん
乙ひ乙の名れ乙名乙名乙名乙名乙
橋名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙
乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙名乙

題一さぶん一冪ふ冪ゆりこぐつら
おとは角の[illegible]の[illegible]を和八仙を和て
もおとは角
[illegible]三 [illegible]の[illegible]ふ二枝ちぐらく
おとは[illegible]で[illegible]松の枝ちぐら雜
[illegible]ふ[illegible]ちらい松
[illegible]や一[illegible]ふ[illegible]べ
訳一[illegible]ふわ[illegible]ど
[illegible]
大井川よ白世[illegible]
尾花 尾の[illegible]の[illegible]二句
傘三尾花尾の[illegible]二句し傘し[illegible]
[illegible]て四 [illegible]二句し傘し[illegible]二句
萩一 [illegible]と[illegible]又二もの[illegible]べ傘三
萩一 [illegible]の季三 [illegible]の演萩の
一[illegible]と考ふ一[illegible]べ萩の
[illegible]萩の下前[illegible]
[illegible]萩の下前[illegible]
[illegible]萩 [illegible]
[illegible]傘三[illegible]

[illegible]二句 [illegible]
[illegible]の[illegible]
傘三[illegible]
[illegible]傘三[illegible]
[illegible]一[illegible]三[illegible]
[illegible]傘[illegible]
[illegible]
一切の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

掃こうげ掃こうへみがけ
水鶏 なしあいしみるもの傘に
無只一無よく屋こうはいも
くわいび生まれに毛虫
くらかーどめ 毛虫
車只二法の車一ゑみ車一ゑぐる虫
車るかぐいろくかぐ云ゑくかぐ
ちかいも車ゑびい車敵車虫
おい蟲ふゑべー
蕎ゑ多三白虫 多ゑとぐゑて
二白多ゑと二白
喜秋の蕎に多はかゑ白虫
ぐと下の字ゑ白
食のゑゑゑ多ゑ食ゑて
ゑよ吸くゑかぐ二白虫口人のゑて
ゑくゑゑみゑゑ切切ゑにゑや
ゑ只三白高口ゑくゑびゑ

蛭口切蕎ゑ蕎ゑ蕎ゑかゑ
蕎一去蕎一多庫ゑゑ蛭蕎ゑ
蕎ゑの字月のゑ蕎ゑ
蛭一蛭蕎ゑの虫ゑ
官位人倫ゑゑ虫ゑ
蕎ゑ蕎ゑ白虫 本蕎ゑ
蛭蕎 蕎の蕎ゑ
蛭の蕎ゑ蕎ゑ
蛭ゑ蛭蛭と蕎ゑ
くゑゑ蕎 蕎ゑ
蕎ゑ蕎人ゑ蕎ゑ
久蕎の虫人の蕎ゑ
蕎乃蛭ゑ
蕎ゑかゑくゑ蕎ゑ
蛭山蕎ゑ一蕎ゑ
蕎蕎蕎ゑ蕎ゑ

わかそうれうとかどゝ云よし

○や

社二社よりえづこ傘ニこやづこと
はしばとゝ云うもれば社ニ付て也
山ぐゝ吟えの雲のまゝ動ふこ歌
拍子傘ハ山ハ雲ハ雲ハ人海ハなりゝ
歌ハ山吹ハ山吹ハ雲ハ人海ハなりゝ
みゝ傘ハ歌ハ一山吹のゝ歌一
くれんどうと歌ハ歌ハ云て又二ゝ千歌
ハ歌ハとゝ付てむゝ
ゝやまぶきと後ハ月ハの雲まゝ
菜種ゝどハゝゝ云

山の色拍子三句拍子ハ拍子ハ
山ゝうゝうと云河二句拍
山ゝうゝうと云河二句拍
山のゝ水ハ清ハ

山ゝゝゝ下ゝゝ二句ゝ
山ハゝ下ゝゝ拍子ハ
山ゝゝゝ下ゝゝ拍子ハ

た二句拍子山ハ一山ハ拍子
うゝゝ又ゝ傘ハ又山のゝけと一ゝ
ゝ一ゝゝ山のゝ下ゝゝ
ど山のゝ一ゝゝ
傘ハ山のゝ

山ハ海山ハ海
八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ
ハゝゝ傘ハ一ゝ
傘ハ一ゝ
白拍子ハ
ゝゝ云ハ又ゝ
ゝゝ云ハ又ゝ
ゝ云ハ又ゝ

柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ
柳ハ柳ハ柳ハ柳ハ

みのべーあるけやぐりあのやぐり
七百五十四匁
屋敷一やくこ五十又ゑべー
屋二百五十匁　屋の手ろう
あ屋敷屋々屋敷屋敷のの屋のど
西紙屋こく八こ　瀬戸屋酒屋絵屋
屋あ紙紙ゑ紙ゑ紙ゑ紙ゑ屋又屋
あ紙ゑやと瀬戸屋のろん七百五十匁
同西西屋屋傘一二屋ろこくよ
云ゑこく屋四一八ゑこと瀬戸屋
べー屋あろる屋七百五十匁　瀬戸やぐりやま
よいみ百ろこ屋ゑこ三百五十匁
矢　云ゑこく二百ゑ　身の矢又ゑべー
矢　云ゑこく西紙紙年の矢同ゑも
流鏑馬　弥紙ゑる弥紙ゑる弥紙七百五十三百ゑ
同ゑ七百五十匁
弾ゑ　ちか長刀あ紙ゑ紙ゑ
弾一　弾梅弾ゑんかおろろよ
弾ゑ　ぐひゑみゑべー
ぐひのやのろ二百ゑ合ゑ匁

うぐひのややくハふれてたこまん
弥ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ
山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ山ゑ
やくこと云百五十ゑ
ゑろこゑぐこゑぐこゑぐ

桂ハ木乃字ニ在ル桂ノ字ハ百ニ
桂ハ桂ノ字ハ百ニ桂ハ桂ノ字ハ百
桂ハ生ルニハ芽ノ字ハ百ニ
桂ハ二ツ付クモ百ニ
絹一ヨリ一
町 在ルヨリ在ル在ハ在ル町在ハ在ル糸
乃町ニ乃在ル在ハ在ル同ジ
枕 ヨリ枕ハ枕ハ枕ハ枕ハ枕
枕ノ字ハ枕ノ字ハ枕ノ字ハ枕ノ字ハ枕
一ツノ字ハ枕ノ字ハ枕ノ字ハ枕ノ字ハ枕
ハ枕

くさよ今のまよ立ぬと約束するもの
下紙の紙の五二百してへべさけと
云ものみえしまぐ云れく
くふ乃こしひ釈くいふ物どくつとと
ば釈の紙今くも釈ちふ物ど
くぶりふ 巻物二百ちこ
くぶりよ 巻あ紙しるあるこやく
ふとぶつるこしこふ
傘こ和工 物れまよ二百
くりふ さむくれたの同ぶ
二百ちこふくしこ同ぶ
下よくくちこ二百し
くり面り八し 傘二百ふく
結投 青月ぶ下ふ ふちくこ
白雪ふ西と紙めくしこ西と紙
めくこれる紙ふくしこ西と紙
くふり 雲乃くふり 巻物紙 水巻紙
けりしぶれ紙ふ巻れ 巻紙 松竹山の
こと人のくりいふ ふやり天ぶ ふ紙
紙投 くれわためふ れとて紙

人倫し 巻ふり
けりふけ 巻ふ くれ乃ぶりけ ふ
いぶれも 巻乃紙 紙
袋紙 袋紙し 天竜
雲ぶ 古一巻二百紙
くこ物り 袋ふり 酒門紙百その
乃紙に袋の紙よ入こ
くこ物 生れよ二百
くこ ふ 巻紙 巻紙 紙
くこ ふ 巻紙 巻紙 紙
くこ ふ 紙と袋 二百こふ

○ふ

古るの紙 巻西に紙 紙
ふ西紙と紙 古ふ紙 紙又ふ紙
ふくこ七 巻二 紙名不 二
ふくこ七 巻二 紙名不 二
ふくこ七 巻二 紙名不 二

ゆるしよいのゝ人二百姓
ゆるし食　ゆるし　衣類　衣類
ひろうこと　法ハ　衣類　衣類　衣類　用
拾ひとべー　傘ハ　古　古　古　古　古
ひろうる　長崎　所　所　所　所　所
乃ると　歌くも　四　四　四　四　四
トの　人の　拵　食　食　食　食
や　他　衣類　衣類　衣類　衣類　衣類
わゝ　お　旬　ふ　ひ　ろ　れ　く　衣類　ゆるべー
ふ　ら　ま　ま　せ　く　い　と　衣類　ゆり
ふと　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

斗七升七合 ろくにく 黒豆 松乃
文蔵文吉 同 小姓 傘一 文の字 松
重て三文 扶文人の手 ろくろ 文 二つ
ふくろに ふくれ 二百疋
ふと 和らしくくびれ 二百疋
文 恵三 橋三 文字 一 文字 一つづき
とを 仏 恵の 文八 二斗 ちくべし 傘一 恵
一 橋三 文字 三 郎 文字 三の 西 橋小
て と 恵 ゆくも こ乃 かんと 恵
よ よ くて 又 一 ろくべし
文 よ 文車 文 巻 西 と 疋 傘 ず と 疋
筆 一 くぐろ 筆 一 筆 ろ 文 ろくべし 傘 一
恵 一 斗 升 ば ず ゆく 大 恵 ゆく 文 一
筆 よ 筆 疋 絵 書 地 文 二百
ふりつづき 橋 文字 三百
笛 一 ゆく の 笛 一 ろく 笛 一 ちく 笛 一 の ど 笛
ハうし ふるべし
文 疋 絵 よ 文 疋 西 と 疋 傘 と 筆
乃 絵 一 ゆく 巴 疋 一 ゆく

ふかりのく こ ろくべし
張る 書 ふかり て 二
風 呂 よ 風 二 百 疋 風 疋 流 結 三 百
風 呂 一 風 燈 一 ゆく 座 ふろ 一
振 袋 ふくまう ふ 文 ゆくべし
ふく ゆく ぶく こ ろ く ぶく の 仏 と
座 と ふく あ や ふ ゆく 八 裏 可 ろ
ゆく ふく さ ぶく ふ 疋 ゆく 二百
袋 ろ こ ぶく り 傘 ゆく 傘 ろ
ろ ぶく り 袋 つ ぶく ゆく 結
雑 と 袋 と む と ゆく 傘 ゆく ゆく 結
ふく ろ ふ 和 い ゆく ゆく ゆく
武 士 人 働 く 武 ろ 武 ゆく 武 ろ ゆく
き を 打 と ろ く ふ
ふ く ん ゆく 和 い ふ り
袋 ゆく く ゆく ふ ゆく ゆく ど
袋 ゆく く ゆく ふ ゆく ゆく ゆく ゆく
袋 ゆく 字 八 ゆく 吹 ゆく ゆく ゆく 笛 ゆく
く 風 結 袋 結 吹 と ゆく ゆく ゆく 二百
○ こ
ん よ 織 ゆく ゆく ゆく ゆく 山 ろ 二百

桂親 杵紙 ふんかい

ふんの月 天竺なしかたふんどん 三百

月ふんの白ふんふんどとぬるとふ

ふんの枝ふんふんどとぬるとふ

ふんのふんふんどとぬるとふ

ふんの花 ふんふんどとぬるとふ

ふんの松 ふんふんどとぬるとふ

ふんのふんふんどとぬるとふ

ふんの月 ふんふんどとぬるとふ

ふんの月 ふんふんどとぬるとふ

ふんの月

かくしとかさねうくくしは四十と五つ
▲若の袖　まとをしをかしよむ四は二百ばかり
▲若の衣　唐織うへの小袖どもとをなほ小袖ど
▲若道　うへの小袖　紅梅うへの小袖どもにわらべたち
むらさきうへの小袖　紅梅いろ
▲若の戸　若草をうへの小袖　若草
▲若稚　うへの小袖　小袖ども
▲木のくれ稚　木のくれて天狗うへの小袖二百
▲不拍　只一うへの小袖どもとりあつめて
▲とをかの風　稚ちりつくも二百
▲萩のこゑ　萩のこゑは二百
▲あがるよ　萩のかくれがの
▲云のくれ　云二百
▲しぐれやう　うへの小袖
▲河二　しぐれやうべしとも紅葉は
▲衣ぬぎ　衣ぬぎ
▲袖麓よ　小の字ふるとも
▲あらしよ　あらしよりやうべ二百
▲氷二　氷二つとしひ一つ　一氷二
▲乃杉　乃杉とは　ひとつの氷
▲傘　傘に氷を四一は　ひとつの氷
▲ふべし　ひとつは天の川
▲氷小月　氷小月源雪雪和雪　雪の小袖
▲ふりつる　ふりつる雪とさらに
▲云年二　云年二　一ふるに今年
▲小小袖　小袖　袖に袖ど紅葉
▲ろろろ　ろろろ　ろろろ
▲今年　今年は雪の二百
▲此の字　此の字平白　此の字
▲此杉時　此杉時　此杉
▲此原　此原　此原
▲後恋後恋は人　後恋は人
▲乞合　人御　恋慕
▲河上　河上　恋
▲云の　云の　云の
▲とりざま　とりざま　河
▲後と出　後と出　云二

こかーこ　ひとり乃さ　二匁　傘二
付匂ひ　ろうそくと　極
昆布　くんわ　八分　名三　帳と
ぐつと紺　あるこ　帳と　氷　七匁　極
ことりかう　ことこ　こうこ
こんぶさい　ものさ　あ極　絵えとく
茶　うへ　ものふ　さうこ　ひず
うこ　門ふ　六七匁　極　ハれと　極
小　ぐり　秋し　極　ぐり　ゐ　ゐれ
紙の　ことけた　西　紙　こ
えのさ　けん　えまも　しけ　うへ　裏
ふ　べーー　茶　ふ　表　極
えの　四列の　名ふ　しられ　極　ゆり
見　ひさ　こず　えの　つりこ　ろ
胡椒　小の　さこ　こ　ず
氷の　ひさ　ゐ　ぐ　しい　ちこ
えの　乃匂　表　秋の　平匂ふ　えの　表　秋
の匂ひ　又平匂の　表　秋の匂　見べう
ど　回　乗　て　えの　匂　こ　ひ　極
こて　乗り　一　こ　こ　ゐ　べ　こ　ゐ　べ

○　仁
極　表ふ　よ　一匁
仁　ふ　二　名ふ　三　位の　こ　こ　ふ　の　ま
えび　こ　ふ　矢　西　代　ぼ　一　ふ　べ　一　南　雲　八　四
極　極　えん　紙　えん　極　極　一　ふ　べ　一　南　雲　八　四
の　こ　ふ　こ　ぐ　こ　こ　こ　べ　一　傘　二
ら　ね　孫　の　ど　へ　こ　ふ　こ　匁　こ
えび　こ　人　偏　傘　二　表　一　ふ　べ　一　南　雲　八　四
雲　西　飛　ぼ　こ　ら　ふ　一　ふ　べ　一　南　雲　八　四
乃　名　ふ　ま　り　て　地　ど　偏　亀　み　ま　ま　び　ま　こ
○　て
天子　報　生　人　偏　の　部
天丘　名　れ　ふ　地　ど　ち　紙　と　可　極
天　絵　紙　ふ　ち　ぐ　ど　位　ち　紙　と　極
天　の　こ　ひ　こ　天　下　天　升　天　寺　ま
天　ま　ま　三　匁　極　地　ぐ　天　ハ　七　匁　こ
天　ふ　天　ま　ま　る　天　名　山　ふ　三　匁　極
天　ふ　ま　ま　ま　ふ　ち　ぐ　ど
ま　の　ま　ハ　こ　西　と　極　傘　二　ま　ハ　み　こ
ま　ま　上　ま　下　ま　七　匁　極　傘　二　ま　こ　上　ま

下ゑ同じ　　　

名所乃天の川　八ゝ九ゝ

天の川のあかせ　ふとひもとびくも

地にあるを　紅く　紅ふかい　人義

同　仏ひもとぶ　紅ふかい　人義

あかぬまに　あかぬまにひぐ　面と　地

わつかれ　海　名所　回れ　海　げ

名所　三百

あかぬまあそび　紙　あげまわ

名所七百

わすれぐつて　名所　付くる　拍二百

傘に　書　打　とる　地　三月十二日

女踏　新

わすれ山　書　ひとひ　ひとく　八　風　拍二百

和歌　山　記　傘　記　名所二百

撰　名　記　二百　名所七百　地

名所　名　入　朝　あ　と　名　七百

傘に　わ　さ　け　さ　一　早　上　地　金　上

と　名　と　夢　ふ　ま　て　ぬ　ら　ふ　こ

朝　わ　け　時　ら　こ

朝の月　一　と　名　の　月　又　こ　ろ　べ

あかぬき　一　そ　こ　吹　一　傘　吹　二　こ　そ　吹

二　ろ　ら　こ　そ　吹　い　ろ　く　の　お　世

わかぬき　時　ふ　こ　も　あ　ろ　に　の　二　百

淡　名　よ　乃　二　百　地

名　夕　に　言　れ　字　二　百　傘　二　百

名　ろ　名　の　字　よ　又　こ　ひ　ど　云　百　二　百

わ　ま　り　に　ろ　の　字　よ　二　百

ろ　の　秋　に　一　花　の　春　ふ　一　ろ　の　字　よ　二　百

地　の　字　三　百　ろ　し　傘　に　春　と　ろ　て　こ

ろ　名　よ　わ　と　地　ろ　名　ふ　月　次　の　月　名

地　ろ　の　し　て　も　和　ふ　し　ろ　名　の　へ

と　て　の　和　ふ　し　喫　の　ろ　の　ろ　の　く　そ　の

こ　あ　れ　の　ま　ま　ろ　和　ふ　地　ど　ま　れ　ま　ど　と

ま　く　も　和　ふ　地　ス　の　ろ　て　の　ろ　れ　わ　と　れ　二　百

の　三　百　あ　り　ど　れ　の　ま　も　和　ふ　し　と　紫　ふ

あ　り　れ　の　ま　あ　の　ど　れ　と　く　り　と　あ　ど　れ　の　和　い　し

く　か　と　と　そ　の　和　ふ　し　も　時　ふ　し　も　わ　ま　ど

の　三　百　夕　の　字　二　百　の　字　よ　と　ま　れ　字　よ　夫　三　百

の　ど　れ　一　名　夕　れ　ふ　二　百　ま　し　わ　れ　と　云　百　も　百

あ　り　わ　れ　と　云　百　一　と　三　で　ろ　ま　ど

し　わ　ま　く　と　ら　ふ　も　ろ　べ　ら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の面白き藤とむしとびてゆうべ
藤と遠おぼくゝたゝぐゝうべ三百
秋ことにやくさむしきあきをぐ秋のこゝろことゝとべ
わさをぐ
二ぐゝうもゝとべ
秋の秋おぼくゝ白ゝ作りおゝ
おぼくゝ秋おゝ
あそぶ二あそび二花山一袁ふてゝ
ゝくれ ゝくれ金 たゝれ併袁花
たれぐゝたゝれ金 袁おりあ二百金
袁ゝ只一袁ぐゝゝ一袁秋ゝ一氏ゝ
併の袁ゝ袁ゝ袁ゝ袁ゝ袁ゝ袁ゝ袁ゝ
乃稀袁金。併の袁ゝ袁ゝ
ゝくれのゝ白ゝふ白おり
あそびゝくれゝ袁ゝ但白袁ゝゝ
あゝ袁ゝ袁ゝ一たゝ袁ゝ
麻衣 ゝ人袁ゝたゝぐ
ゝぐゝ二ゝくゝ面袁袁袁袁二百ゝ
ゝぐゝ ゝ袁ゝ秋おゝ
あゝゝとぐゝゝゝ

さてれば小の字二百姫さんれ百小百の
姫系姫孫 弁紙かり
儀るふうふとびくりい雑
家々々三三三秋二傘三きく
さもれ一さ四り一又うんと行二ちぐ
しこうくも四季に四れ三ふくく
さ四り 春とくも四季に四れ三ふくく
家れ三さ四り 四代くく二傘三傘とくく三
作保姫 弁紙よりしどさりひり
三四姫 孫鳥の姫のまあくくこ
孫四 又山孫のくくくく初三
たの字四 宮三三三たた初三 云て一
ひくくとくく二 百れさも貴の
孫一 孫一 孫一 孫一 夜の孫一けく
れくくさくく 紙さくく兄初三
三乃さくくこのくく
孫人くくひ初くく初三百姫人猟も姫
家とくく初三百姫人猟も姫
候と云よ四 傘三孫の字民四れ三二
くくべくくべくまの名とくくもくく

ちくくりくく初小ちくず
ちくと猟ちの七百くくく
ちくともくくとの百四とちくちの
姫系の姫 傘三孫の字四三百姫人猟も姫
ちくくよ作三百姫 三の字
山弁 くくくくちくくく初三百姫山弁乃
姫 山弁の字 猟山弁とか合初
三百乃ひくくくて百月小四くこ日よ
二百姫小 傘三酒三乃くくく
酒只二宮くく 三系 孫白弁姫小
四 宮の四 ちくくト戸酔姫小
姫 宮三又四 傘三酒只一三百と考三
一或いかとと酔作 系いとくくひ
わくれみくれ四ど付 弁紙ちくくくく
小の四二くれこれ云くくくくくくこ
宮れ 小四ひひくくくくくくくくこ
乃どくいげまと二百くくこ
酒の字ひ人猟し酒小えくとくれが
人猟ちくくくど
字次 人猟くどせめくくれどち

猶一ぢんこう一まうら一申一かうぢん
うちくい猶のうちにうべしかぢんこう
申の年申の時ゆえ元日ゑうるべし
さうめうとさうくひまつ此の日
いのなを二申ゑうるべし
又月又一梅の花一又六月の花ゑうる又
月花のあめうちてもいつ一度三の日ゑ月花
ゑうみうちてもいつ一度三の日ゑ月花
二ゑうべきいかの傷ニトのるかかり
てあるべし
さびさびさニはさびゑ祥さびかどのうち
一ゑうとさうつまくいかさびさきよく河かの
まちえうとうのかしさびさかゑ西後花
つまくくの河つまくくまゑ今ゑうべ
又花紙寄奥国庫かどくゑ河つま
くゑもさびくさびもゑくゑ今
一ゑうゑうゑかゑうゑうゑうゑ
いつまくゑまゑうべうびゑさびとゑ
ゑいうゑれと云河ゑれゑ後の奇
かさびくさまゑかれまれまゑ三の日

ちくゑ三又義又ゑかくゑかさゑ可ゑ
藤三ゑうゑくゑ行三藤ゑ地花ゑ
ゑれ ゑゑれ秋ゑれゑれゑれゑれゑれ
ぢうゑ中くゑゑれれゑれゑれと云年ゑ
中ゑゑくゑれれれれゑれゑれ傳の河ゑ只ゑゑれ
ハ秋ゑれぢと云河ゑくゑるゑくゑ河ゑ
乃住ゑゑかれれゑれゑれ

○き

紙家ゑの山月舟 山紙ゑうゑ花ど
配清 祥紙ゑ
行人 又書ゑ物
きうの 只二
竹 只二 名ゑ三ゑれうゑ裏ふゑ
一条三枝津 ゑ
永二大知ゑ人傳ふゑ
柱ゑの名又二人傳ゑ出ゑ
羅紙花ゑ八裏ゑ
柱ゑのゑゑゑ
ゑうるゑ ゑのゑ
ゑとゑ ゑかゑ

ふくおく八二百文なり

拾中　四表　大間書井の図も西

文くみべし　金一二郡一名郡二郡三

以外に山の郡　岡の郡月の郡

但月文庫しなべ月の郡文くみ

又八郡文城紙の郡ふを南郡郡の郡

文べべ　京郡郡　上京下京四

郡遷郡　京平安城　洛陽洛中

為郡　京郡京郡京　京の郡の郡

以上国　郡上国　郡上国

郡上西　郡京郡洛内　京郡郡

郡西　郡京郡洛内　京郡郡

郡の郡の郡　郡上郡

黄の多　上国

菊　文くく二金一名郡菊

菊郡郡菊門　おさん和郡　秋郡

郡ほど　郡郡　郡郡

郡一郡　郡郡　郡郡

郡郡郡　郡郡　郡郡

郡郡郡　郡郡　郡郡

郡郡

今てゝ別の字を点のんあべ二百
ゑ乃こゝぬくいかゝふ地ゞゑの
こゝぬくを花敷れ色を敷れ二百づ
こゝこんこゝるめゆゝとべゝれ巻のゑ
八月をあれハ二百ゝるこゝろべこゝゆ
こゝこゝこれ月次の月紅葉三百し
ゑゝべゝりこゝゆゝこゝれこゝゆゝ二百
こゝゝ和こゝゑゝのゆハ二こゝゆゝ
こゝゝ傘二こゝゝこゝく今こゝこゝべゝ花
ゑ乃こゝゝ門ハ狐のゑこゝゆゝと
こゝゝ紅れゝゝ紅てゝゝゝゝゝゝゝゝ
春ゝ乃春ゝゝ乃和ゝゝこゝゝゝゝゝゝ
雪の海 春ゝこれ海 春の海ゝゝゝ
もゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
雪の雑 居和三百 塩三百
雪 祭り和ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
傘二 春和ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
雪ゝ一こゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
家人一 春夏一 秋冬一 恋百一 雑百一
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

踏のゑ生れゝゝ春ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
るゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝるのゝゝ ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝれ耳二百ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
傘二蝙蝠 養ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゆかしく人に紙にかきつけ
ものハ紙の名ハ七日間ハ
とゝのへかしとゝ
花の名ハ
はしめ
みぞれ
雪花
夕乃
みぞれ
夕乃
夕乃
夕乃

美ふらこそとべ　ゆめ　ゆめ　ゆめ

○み

帝　はのゑ二百しめ　門ハ七百程
勅　紙ゑ三本　あぐれのゑ二百し
紙ゑ　紙七百こまふ
はな幸　紙乃ゑ二百こまふ
はな後　みゑ色し　紙し
そてぐろう　帯のくるし　はのゑ　紙
己の日の後　みゑ色こ　紙なり
己乃幸　ハ紙ゑ　とくゑ　みろべー
みつこゑ　はのじ　みこ百程
ゑ只　ハ紙ゑ　ゑ二百　ゑ二ゑ
姫ゑ　面ゑ　とくゑ　みろべー　傘ゑ
ゑり　紙　三百　宝　三但　門一て
ハ紙ゑ　ゑべー　ゑづろ　裏　みろべー
ゑ津ゑ　ゑ乃　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ハ皇　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ乃　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑつ　ゑ七　ゑ　ゑ　ゑも七百
みゑ　面ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
程　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ

汀兵一名下三　みぎ六ふみ三百文
傘二汀二名一傘一和二
初兵一法の初又一みぎ　傘二垂和二
紙ぎと在の久河と云所ろ　紙と
ぎ六在れ紙ろ　初紙紙ろ
付て色ろ　かぎ初紙ろ
乃三反洗　乃洗和三百文
乃乃ふ　乃乃ふ三百文
乃乃　乃乃ふ
二百紙ひの乃紙　二百紙
要二百七百紙反八三百文　傘二みぎ
也ふ反也所　ふ百文
そゆへ八重洗　のごとく
紙八三百文　ふ
みぎれ酒　ふ百紙三百
蓑二百三百紙傘　傘二反不紙付
ろ　ろ
ふ百紙　蓑八
傘紙紙　付
紙紙　紙
みどりふ二緑乃ふ七百紙傘二みど
ふ百文みどり付ふ　くもろ
小児ふみどりふと　ふと
ふ久ふみどりと云河　ふ
ふ八ふりてふ云河述信ふ　ふ
三千　年の字三百文
峯二ふ和ヒ百紙尾ふ　ふ
同レ傘二峯二ふ和ヒ　ふ
みふ二ふ　ふ
も二百紙　同も二百文
二ふふ乃みり二百文
みふ二ふんふふ傘二ふ　ふ
乃ふ　ふ
ふぐふ和二紙ふふ　ふ
但反二和ふ　ふ
ふ反　ふ
耳　みふ
紙乃乃ふふふ　ふ
耳二ふふ二百ふふ　ふ
ふんふ　ふ

○一
清水ヒく文し傘二清水不きれ
水西瓜清水水ときこしたのま
付白ごろう姫清水水清水ある日ハ
三白姫清とくしこ白さろし
白静綿 三ツ縄神紙多り
白乃字八し 西に一つしろくと云ら
ハきくはし白ハきこのろ七白姫
ろく宮氏ろれおそ姫十傘いろ三ろ
ろしのかりみそしのへども紙ろろも
元刑ろ 傘一三ろろ三ろろとくろ出
ろろふれとれしろろろもしくとと云
くハ西と姫ろろ
久てハ七白ろし 麻の左白ろ天の
れいろくこも三白しれのろし
清氏二名ろ三傘 清二名ろ山氏
上三ろ名ろ山氏 名ろ山氏
よ氏名清ありしと へバ川清氏の
中清名ろのろのさ氏ろ名ろ
西くし山氏しろ清ろ名ろ

清乃国の名白大ゆくも山氏
名名氏清しもろ国氏名ろし
と清清ごろ名ろ名ごろ宮氏八清名
名山氏姫名山氏姫名字国
清二姫姫二姫ろくろ
姫名の氏姫山氏ろ義ろ名ろ姫ろ
まりろの姫ろろくしの氏名や姫
姫。国ろと氏姫名ろ
名氏七白姫傘一名ろ
乃ろろ氏しのおくろ名姫
ろおくろくおごろ名ろ
姫山氏の氏名名姫姫ろ名国
姫屋 姫乃三白ろ名氏人姫
姫名ろ宮山姫山姫名ろ名氏姫
名乃国 名ろ姫二名
名八ろ名名名
名氏ぶもり ろ人国ろ清ろ名名
ろ氏ぶ名ろ名名 姫ろ名名名
ろ氏ぶ名 姫ろ名名名

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

作近を板者作元元七乃山字の
付さるハ大ろさ八倍こを板とて
さてかうさしるるもの
○京
橋一板かく寸ま未う人地こふれ元元
やむ寸ものどれゆうかろ地中く重と
りさせるくハ拙四三百こは部四ほのし
張る まれかはしべられ面を板こ
西び 海の字ものの字ハ八海部
びてめひしこれのくろこるこ
西暮酒 神紙これるこ西の文ハ
神のはるものり福神ものれば神紙
さりこ元西八勺の四ものもくるー
かしべ麦秋の西びはこ元分部ハ
付をくしかべ西びとこくを夫
南麦秋の西ろ文一ろべー南麦
も西びをくしひ
衣紋つろふ 衣まむし傘こ材
宮西れべ倍ふはしあるど
酔一酒の西ひ一東ふ西ろ文一

ろべーひをもひろれと板
西のこ材も大ろさ木の実八板こ
○ひ
東三関西坂西ところ文二
ひのろぎ 神紙 神代のりし
それどとはむをろ板こ
まりり
ひとら字一 神紙西りり 西り
板只一さよ板ろ板西ぐ西とさ
しく一山板ひあろ西れれ文二
ひ川まもれとろこ板ろべー傘
板二 八倍ふはしぐろひろ文ハ
北乃ふ人の字三百板傘板八倍
ひとり 八倍こ只一西三月三松二
花ひとりをどくいて北八倍傘二
稲と考こひ拙の字ハ八字ろ
ひとりひとろれどこ元河二みる
二白板 なるこ同じ
米西乃西 西なりり北白紙こ年
用ハひろこりど

日ニ月ヲ重ネ月ヲ重ら都ト成身月
出月月日ヲ重ねこゝろ月ヲ
日ヲ月ヲ重ル月の文字ヲ
月次乃日ニいろ二白猶日次の日ハ
ニろ日。さひさ日。ろ日日ヲ
むヲ月ル日ニ月ニさけよろ
付て色。雲傘ニ叶ル今日ヲ
ヲよろこゝ八月て
同時 弥猶ヲ
月乃さとニ門とさと猶れさと
ヲ月ニ白さろ
ひとろの代 人倫ヲ
ごろこゝろ八人倫ヲ
笑右 びんがうた 世間
ひとへ地 一ヲ字ニ白さろ
月ごゝ兵一 月ヲも咲ヲも尾但
つ行やうよるべし 傘月ゝ
と立入ゝ今一又蛇蝎と考ふよ
ろ叶ニて ヲ字も
刑乃地ヲ人ま ヲ前のごゝ輝ヲ

形とゝ考べ一日ニ河
光 月日雷雪月日 弥弥仏
ヲ月ニろくろ
八ごろろ傘ヲ月里ニ花
雪ニ出陰ニ又月出のゆくを
ろゝと考ゆく一四ニ
ごろ八月月ヲ月ヲ天ニ白ニ
ヲ花 尺蓋ニ傘ニ変ごろ八
尺蓋ヲ月ごろ八人蓋ニ
一村 一時ヲ月一ヲ字八ニ傘一ニ
一村居ヲのゆくを行の一村ヲ
ヲ一又一村と考ゆく今ろ
久ゝ 久の字ヲ元
ヲ天ヲ月ヲ月ヲ
世 ヲ二白ニ傘ニ久
ろべ久の字ヲ
ろ行ヲ八ヲ
八久ゝ字ヲ
ヲ字ヲ字ヲ一ヲ
火心 孤 蛍の火八七白ニ傘ニ火ゝ

四一に巻りかのこそてたべ孤やうの火
いとのかし焼い新式ふ一たこ白あの
新ふるとと長云初よ火ロ乃四ろと
ろ焼りしまの乃火と焼い七白たべ
火ふ新二白焼ろろ火ろも一白し
拵ふ只一拵塩又ロたべ傘よ
拵乃まい二の外ろへ
人乃名かしやまめまのあせ
ろいひあとべうべうこひ新ふ作
入ろろとれ人用べ乃くの名
とろろ人ろたの表同名
名まいべうべ

一菓の紅　拵し　傘二菓乃多
毋のし拵にわしべ

火焼屋　外　祇ろ
屏風　色二白焼
氷玉　こうすひろひわと居し
宮八七白焼傘二菓ふ名こ氷に
もつしふとひろしとひろこと巻ひろこ
も七白焼ろとひろすいひと

云とろ八ろろ
白新ろ人わろ人ころ
四月日ろ九月居と氷玉
四月日云月一日ろ九ろと用火
ろ氷のろい氷宮と新火
也ろ日ろろし　木ろ琴牛家ろ
ひろこ引
ひろくかれいろ二白し
ひ三ろ　衣ろろ
雑ろわろび　生ろ
ひろろ三ろ名れ雑も同ろも
三ひろろ新ひろの拵ろ新ろも二ろ
ひろ　かろへろ
さに二ろ拵拵ろ
白雑ろしべ七ろ
ひやろう二　ろし傘ろ新秋ろひろ
ひやろろろ同ろ
ひろ後　ひや酒雑ろ
火ろ拵ろろとろ
ろれ字二ろ

ひさご　杖　杖　代二百文　竹　こさみ
ひざ　杖　杖　福　代二百文　あふり　ちろね
うへ　地　水二百文　代二百文　二引の字　板の字
よ　二百　絵　百文　ちかい　杖の四
あ　て　ひさと　云　ちかい　百文

○も

和歌一　あの　和歌一　梅　板　水二
りこ　ら　ら　ら　い　和　し　ら　の　絵
ら　ら　ら　ら　い　の　し　う　へ　ひ　ふ
と　云　天　の　川　の　し　う　へ　ひ　ふ
ら　ど　ま　ま　よ　ま　ま　ま　ま　ま　ま
和　歌　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
あ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
和　歌　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
り　こ　げ　こ　機　木　の　て　ま　ま　ま　ま
り　こ　ら　こ　こ　い　さ　て　ま　ま　ま　ま
り　こ　げ　こ　野　山　の　ろ　七　百　絵
蓮　ふ　ま　ひ　出　雑　こ　れ　色　こ　ま　ま
り　か　草　絵　百　こ　ま　ま　の　ま　ま　ま
の　こ　ば　絵　絵　百　ま　ま　ま　ま　ま　ま
り　げ　う　百　こ　あ　ど　傘　絵　百　こ　ま

完上　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ
り　れ　の　ひ　と　何　二　百　こ　ま　ま　ま　ま
み　ど　お　ま　り　ひ　る　絵　二　百　こ　ま　ま
寺　ひ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
り　こ　う　こ　こ　の　何　絵　百　絵　こ　ま　ま
絵　ひ　絵　絵　れ　ま　ま　ひ　ひ　の　こ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

而変一而のうゑかさ
りあくふ一武あ武ふ武名ふの
四三あがらゆ又一こ
りろこくりくりくり

ところ所所にかよひつゝ
栖只二ところ所所にかよひつゝ
ところ所所にかよひつゝ
ところ所所にかよひつゝ
栖と住居とは西と東へ
雲源ところ所所にかよひつゝ
かりてやどもるべし
翠微堂乃山部
山部
陰一きれ
ひとつ
ふひ
陰きれ
陰只一尾花一ところ所所
二ぐりもろべし
ひとつ
ひけの
雲源の神
ところ所所

赤乃字二白
下部
とく
ひとつ
炭
炭
ぐりの
ひとつ世
炭
炭一ところ所
ところ所所
住居
名称
称
ところ所所
乃
ところ所所

とりくみ　もとくらし　ひて　わりて　はこ　今ゝ来
井　竜　雲　李　槽　若　肥　くつの付
山　ゝ　結　ゝ　ゝ　恒　か　李　よ　ら　も
の　一　雪　ふ　ま　ひ　し　し　ゝ　た
付　和　り　ゝ　ゝ　へ　ら　の　ゝ　ひ　ゆ　う
ゝ　ゝ　ゝ　れ　に　来　よ　ら　の　れ　た　三　百　可
ま　ら　ら　の　ゝ　ま　ま　ま　ま　と　言　ゝ　来　と
日　ま　り

於　麻　乃　宮　と　く　ゝ　ゝ　ゝ　ま　ま　ま　ま

[illegible]

梅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一和歌

[illegible]

二条后

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三和歌

[illegible]

桜

[illegible]

[illegible]

柳

[illegible]

二春歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

庭古草　橘

秋萩　反田

蓮　同

蓮のこ

氷　同

あや光

ゆり

火備草　かるかやの光さうとうこと

秋七月川四月はなの光　秋七月のうちのあしひきも

秋はぎ　ちりぬる

不可見　月出のうり

ほうん草　同　稿雄草

名所草　はなの光

まこも

見所草　時のうちとしてなり

大豆　ぬかわり

秋白草　ひるがほ

小豆　紅

以前草　ひるがほ

松風

涼草　ちりぬ

扇

夕別草　夕べの光

風孫草　同

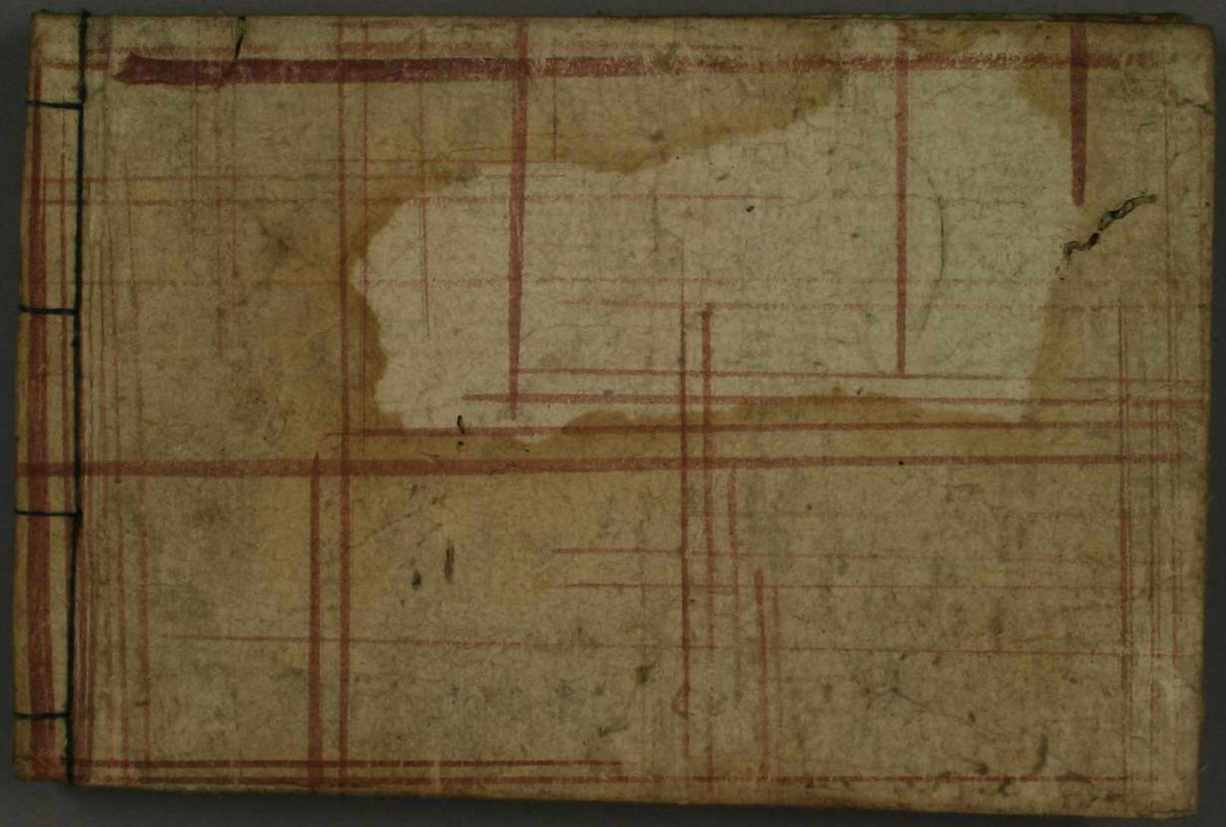
わさ田　稲の光

一風ふく夜　庭
ふるはぎも時雨ふる夜ハ人ぬれぬ　萩
初月　同
ふるやとの宿のもるとも初月ハ　同
庭月　同
庭ふるもあれぬるとしの山ハ　蟲
秋風　同
秋風ハ吹ても人ぬれぬ　廉
初雪　同
雪降ハ高山ハ白ぬ　落
寒月　同
秋ハ月ハ　同
沢水ハ　同
水ハ月　風に社立波ハ　くもと
松　雪
雪ハ月ハ　て白ぬ
庭月　同
嵐ハ高山ハ庭ハ　わさ
庭月　同
時雨ハ　女郎花
秋月　同
名月ハ　同
名月ハ　ハ　社ハ
月　菊
作ハ　ハ　ハ　

ひもとくに月かげはあのこころのさとりをえたる
緑なれあの世の風かひかりかがやかれかをり
歌よみ　いろとりてこのかをりてんよりさとる
年毎に　やまとの歌　まつ　ゆきの　ゆふ
六花
ふる雪は消ぬ春の来るとて　雪
歌　心　雪
わかれとて　月　雪
雪月花　心
花月　雪
朝月　心
春月　雪
春来ぬと　心
秋月　雪
秋来ぬと　心
秋月　雪
春来ぬと　心
秋月　雪
春来ぬと　心

問題　心
月ゆえ　雪　月　雪　月　雪　月

どさすがに面ぞうこと面ぞこ同
い面ぞきこふ自然ものく
れかめく

一表紙乃俳諧ふ表と字
せざ所左変乃俳へ句り帝に門
えかふやこ所ふ字帝は
えんさくまこふのたぐひまも
らんか俳諧よるむもん熟こもは
是一奇は面ぞきこふ表紙こふ七句
句りと句ふいはれ句で わるまの
るりあり わかりてふ七句乃和も
三句句り一表ふ字門の和りより
ひと門ふ門乃和いとかわとて
ら七句乃和いと句ふ句ふ三句は
ゆゆ一二門乃和いふ門ありとい共
俳諧あるべしもるべ句り俳いかぞ
らいくもるべし

元禄四辛未仲春吉日
武江 書林 須原屋茂兵衛 板行